

平成 25 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」結果暫定版概要

1. 目 的

平成 23 年 3 月 11 日発生の東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所爆発事故以降、放射線への不安、避難生活、財産の喪失及び恐怖体験等により、精神的苦痛や心的外傷(トラウマ)を負った県民のこころの健康度や生活習慣を把握し、適切なケアを提供するため、平成 23 年度から県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」を実施し、支援を行っている。

こころのケアについては、中・長期の対策が必要であり、そのためには「こころ」や「からだ」の健康状態について、継続した見守り・支援を行っていることを対象者へ伝えるとともに、「こころ」や「からだ」の変化やその要因を把握し、状況に応じた適切な支援を実施する必要があることから、今年度も引き続き質問紙による調査を行った。

2. 方 法

1) 対 象

平成 25 年度の対象は、平成 23 年 3 月 11 日時点で国が指定する避難区域等の住民及び平成 25 年 4 月 1 日までに生まれた方であり、具体的には、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村、南相馬市、田村市、川俣町の全域及び伊達市の一部(特定避難勧奨地点関係地区)の市町村に住民登録があった方、212,372 人を対象とした。

0 歳～3 歳用	:平成 22 年 4 月 2 日から平成 25 年 4 月 1 日までに生まれた方	4,164 人
4 歳～6 歳用	:平成 19 年 4 月 2 日から平成 22 年 4 月 1 日までに生まれた方	5,169 人
小学生用	:平成 13 年 4 月 2 日から平成 19 年 4 月 1 日までに生まれた方	11,167 人
中学生用	:平成 10 年 4 月 2 日から平成 13 年 4 月 1 日までに生まれた方	6,013 人
一般用	:平成 10 年 4 月 1 日以前に生まれた方	185,859 人

2) 方 法

上記対象に対して、上記区分に従い、調査票(自記式または保護者回答)を郵送した。

3) 集計対象期間

平成 26 年 2 月 5 日から平成 26 年 2 月 28 日までに回答し、平成 26 年 7 月 9 日までにエントリー入力を終了したデータ 34,793 件。

4) 有効回答数

暫定版において集計対象とした有効回答数(有効回答率)は、0 歳～3 歳用が 1,281 人(30.8%)、4 歳～6 歳用が 1,565 人(30.3%)、小学生用が 3,001 人(26.9%)、中学生用が 1,348 人(22.4%)、一般用が 27,598 人(14.8%)であった。

調査票ごとに、各項目について結果を集計した。集計結果は、結果報告書のとおりである。なお、各項目に欠損値があるため、合計は上記有効回答数と一致しない場合がある。また、結果報告書の割合(%)は、端数処理を行っているため、合計が 100%にならない場合がある。この集計の数値は暫定版であるため、今後報告する確定版とは数値が異なる可能性がある。

3. 平成 25 年度調査の集計 暫定値のまとめ

子どもの情緒と行動に関するアンケート(SDQ)について、中学生に比較して、小学生と4歳～6歳はいずれも基準点以上(16点以上)の割合が高かった。いずれの年齢層においても女兒・女子(4歳～6歳: 12.6%、小学生: 12.5%、中学生: 11.0%)よりも男児・男子(4歳～6歳: 16.1%、小学生: 16.1%、中学生: 15.8%)の方が、基準点以上の割合が高い傾向がみられた。

全般的な精神健康状態(K6)、トラウマ反応(PCL)について、基準点以上(K6:13点以上、PCL: 44点以上)の割合は10代で最も低く、70代以上で最も高かった(K6: 10代 4.4%、70代以上 11.5%、PCL: 10代 3.8%、70代以上 24.7%)。また、男性(K6:8.9%、PCL: 15.9%)よりも女性(K6: 11.5%、PCL: 18.2%)の方が、基準点以上の割合が高い傾向がみられた。

睡眠時間について、0歳～3歳、4歳～6歳、小学生、中学生、一般の平均値はそれぞれ10時間0分、9時間46分、8時間55分、7時間11分、7時間2分であり年齢層が上がるにつれて睡眠時間は短くなる傾向がみられた。

運動について、「ほとんどしていない(小中学生は体育の授業での運動を除く)」者の割合は、2歳～3歳^(注)が10.4%、4歳～6歳が14.6%、小学生が40.4%、中学生が31.9%、一般が44.8%であり、一概に比較はできないが、小学生と一般において運動を「ほとんどしていない」者の割合が多い傾向がみられた。

(注)運動習慣については、2歳以上を対象としている。

平成25年度 県民健康調査

「こころの健康度・生活習慣に関する調査」

結果報告書

(暫定版)

福島県立医科大学

放射線医学県民健康管理センター

(平成26年12月)

【 目 次 】

平成 25 年度 県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」

調査票別集計結果

結 果 概 要	1
0 歳～3 歳用	2
4 歳～6 歳用	6
小 学 生 用	11
中 学 生 用	16
一 般 用	21

平成 25 年度 県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」

調査票別資料

0 歳～3 歳用	37
4 歳～6 歳用	38
小 学 生 用	39
中 学 生 用	40
一 般 用	41

平成25年度 県民健康調査

「こころの健康度・生活習慣に関する調査」

調査票別集計結果

(暫定版)

平成 25 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」結果概要

1. 目 的

平成 23 年 3 月 11 日発生の東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所爆発事故以降、放射線への不安、避難生活、財産の喪失及び恐怖体験等により、精神的苦痛や心的外傷(トラウマ)を負った県民のこころの健康度や生活習慣を把握し、適切なケアを提供するため、平成 23 年度から県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」を実施し、支援を行っている。

こころのケアについては、中・長期の対策が必要であり、そのためには「こころ」や「からだ」の健康状態について、継続した見守り・支援を行っていることを対象者へ伝えるとともに、「こころ」や「からだ」の変化やその要因を把握し、状況に応じた適切な支援を実施する必要があることから、今年度も引き続き質問紙による調査を行った。

2. 方 法

1)対 象

平成 25 年度の対象は、平成 23 年 3 月 11 日時点で国が指定する避難区域等の住民及び平成 25 年 4 月 1 日までに生まれた方であり、具体的には、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村、南相馬市、田村市、川俣町の全域及び伊達市の一部(特定避難勧奨地点関係地区)の市町村に住民登録があった方、212,372 人を対象とした。

0 歳～3 歳用	:平成 22 年 4 月 2 日から平成 25 年 4 月 1 日までに生まれた方	4,164 人
4 歳～6 歳用	:平成 19 年 4 月 2 日から平成 22 年 4 月 1 日までに生まれた方	5,169 人
小学生用	:平成 13 年 4 月 2 日から平成 19 年 4 月 1 日までに生まれた方	11,167 人
中学生用	:平成 10 年 4 月 2 日から平成 13 年 4 月 1 日までに生まれた方	6,013 人
一般用	:平成 10 年 4 月 1 日以前に生まれた方	185,859 人

2)方 法

上記対象に対して、上記区分に従い、調査票(自記式または保護者回答)を郵送した。

3)集計対象期間

平成 26 年 2 月 5 日から平成 26 年 2 月 28 日までに回答し、平成 26 年 7 月 9 日までにエントリー入力を終了したデータ 34,793 件。

4)有効回答数

暫定版において集計対象とした有効回答数(有効回答率)は、0 歳～3 歳用が 1,281 人(30.8%)、4 歳～6 歳用が 1,565 人(30.3%)、小学生用が 3,001 人(26.9%)、中学生用が 1,348 人(22.4%)、一般用が 27,598 人(14.8%)であった。

調査票ごとに、各項目について結果を集計した。集計結果は、結果報告書のとおりである。なお、各項目に欠損値があるため、合計は上記有効回答数と一致しない場合がある。また、結果報告書の割合(%)は、端数処理を行っているため、合計が 100%にならない場合がある。この集計の数値は暫定版であるため、今後報告する確定版とは数値が異なる可能性がある。

平成 25 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（0 歳～3 歳用）」結果

こころの健康度・生活習慣に関する調査(0 歳～3 歳用)の対象 4,164 人のうち、有効回答は 1,281 人(30.8%)であった。内訳は、男児 654 人(51.1%)、女児 627 人(48.9%)で、平均年齢は 2.0 歳であった。

現住所は、県内 910 人(71.1%)、県外 369 人(28.9%)であった。

1. お子様の健康状態について（問 1）

健康状態は、「きわめて良好」が 415 人(33.1%)、「良好」が 533 人(42.5%)、「普通」が 292 人(23.3%)、「悪い」が 14 人(1.1%)、「きわめて悪い」が 0 人(0.0%)であった。

2. お子様の現在の身長と体重について（問 2）

男児の身長・体重の平均は、1 歳 78.1cm・11.0kg、2 歳 88.2cm・12.7kg、3 歳 95.8cm・15.0kg であった。女児の身長・体重の平均は、1 歳 77.8cm・11.0kg、2 歳 86.4cm・12.6kg、3 歳 94.4cm・14.2kg であった。

3. 治療中の病気について（問 3）

治療中の病気は、「ない」が 917 人(74.1%)、「ある」が 321 人(25.9%)であった。

「ある」と回答した者の内訳(複数回答)は、表 1 のとおりであった。

表 1 治療中の病気の内訳

病名	人数
風邪	134
アトピー性皮膚炎	54
喘息	35
中耳炎	35
歯科疾患	31
アレルギー性鼻炎	21
喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎以外のアレルギー性疾患	16
インフルエンザ	11
副鼻腔炎・蓄膿症	6
てんかん	2
ADHD	2
その他	44

(複数回答)

4. 入院の経験について（問4）

入院の経験は、「ない」が982人(77.2%)、「ある」が290人(22.8%)であった。

「ある」と回答した者の内訳(複数回答)は表2のとおりであった。

入院の経験が「ある」と回答した者のうち、この1年以内に病気により入院しなかった(「いずれもなし」と回答した)者は176人であり、この1年以内に入院した者の内訳(複数回答)は表3のとおりであった。

表2 入院時の病気の内訳

病名	人数
RSウイルス感染症	79
肺炎	43
気管支炎	32
風邪	28
胃腸炎	27
喘息	24
ロタウイルス感染症	23
熱性けいれん	22
マイコプラズマ肺炎	20
鼠径ヘルニア	10
川崎病	9
インフルエンザ	8
その他	82

(複数回答)

表3 この1年以内の入院時の病気の内訳

病名	人数
RSウイルス感染症	24
肺炎	16
喘息	11
気管支炎	9
ロタウイルス感染症	9
風邪	8
熱性けいれん	8
胃腸炎	6
鼠径ヘルニア	4
マイコプラズマ肺炎	3
インフルエンザ	2
川崎病	1
その他	20

(複数回答)

5. 検査の経験について（問5）

1) CT検査の経験は、「ない」が1,192人(93.3%)、「ある」が54人(4.2%)、「わからない」が31人(2.4%)であった。

2) X線を使った検査の経験(CT、レントゲンは除く)は、「ない」が1,168人(92.8%)、「ある」が50人(4.0%)、「わからない」が40人(3.2%)であった。

「ある」と回答した者のうち、「透視検査」が38人、「血管造影検査」が7人、「核医学検査」が2人であった。

6. 病気の治療のための放射線療法の経験について（問6）

病気の治療のための放射線療法の経験は、「ない」が1,251人(97.8%)、「ある」が11人(0.9%)、「わからない」が17人(1.3%)であった。

7. 睡眠時間と昼寝の有無について（問7）

1) 就寝時刻は、平均で午後9時11分であり、起床時刻は午前7時14分であった。睡眠時間は、平均で10時間0分であった。

2) 昼寝の有無(お子様はお昼寝をしますか)は、「いいえ」が181人(14.2%)、「はい」が1,091人(85.8%)であった。昼寝時間は、平均で1時間52分であった。

8. 普段の運動量について（問8）

運動（普段、運動をどのくらいしていますか（調査票記入時点で2歳以上））は、「ほとんど毎日している」が370人（43.4%）、「週に2～4回している」が283人（33.2%）、「週1回程度している」が110人（12.9%）、「ほとんどしていない」が89人（10.4%）であった。

9. 食生活について（問9）

- 1) 母乳（お子様は母乳を飲んでいますか）は、「はい」が193人（15.7%）、「いいえ」が1,036人（84.3%）であった。
- 2) 食品（飲料）および朝食、外食、調理された食品を食べる（飲む）頻度（調査票記入時点で1歳以上）は、表4（次頁）のとおりであった。

10. 育児について（問10）

育児（育児に自信がもてないことがありますか）は、「はい」が161人（12.6%）、「いいえ」が566人（44.3%）、「何ともいえない」が551人（43.1%）であった。

表4 1歳～3歳児の食品(飲料)および朝食、外食、調理された食品を食べる(飲む)頻度
(上段人数/下段割合)

		食べ ない	週に 1回未満	週に 1-2回	週に 3-4回	週に 5-6回	毎日	計
朝食		10 (0.8%)	0 (0.0%)	2 (0.2%)	18 (1.5%)	36 (3.0%)	1,138 (94.5%)	1,204
外食(給食はのぞく)		124 (10.4%)	688 (57.6%)	319 (26.7%)	26 (2.2%)	2 (0.2%)	35 (2.9%)	1,194
調理された食品		112 (9.4%)	468 (39.1%)	445 (37.2%)	139 (11.6%)	22 (1.8%)	11 (0.9%)	1,197
ごはん		1 (0.1%)	0 (0.0%)	6 (0.5%)	31 (2.6%)	97 (8.0%)	1,071 (88.8%)	1,206
パン		26 (2.2%)	169 (14.1%)	408 (34.0%)	260 (21.7%)	133 (11.1%)	203 (16.9%)	1,199
魚料理		22 (1.8%)	119 (9.9%)	560 (46.7%)	388 (32.4%)	78 (6.5%)	31 (2.6%)	1,198
肉類	とり肉	35 (2.9%)	214 (17.8%)	658 (54.9%)	257 (21.4%)	26 (2.2%)	9 (0.8%)	1,199
	牛肉、豚肉	56 (4.7%)	151 (12.6%)	508 (42.3%)	416 (34.7%)	53 (4.4%)	16 (1.3%)	1,200
	ハム、ソーセージ	103 (8.6%)	223 (18.7%)	452 (38.0%)	316 (26.5%)	69 (5.8%)	28 (2.4%)	1,191
野菜	緑の葉の野菜	95 (7.9%)	163 (13.6%)	381 (31.9%)	313 (26.2%)	136 (11.4%)	108 (9.0%)	1,196
	赤や黄色の野菜	35 (2.9%)	77 (6.4%)	281 (23.4%)	410 (34.1%)	220 (18.3%)	179 (14.9%)	1,202
	淡色野菜	40 (3.3%)	90 (7.5%)	270 (22.5%)	435 (36.2%)	208 (17.3%)	158 (13.2%)	1,201
	野菜ジュース	402 (33.6%)	306 (25.6%)	213 (17.8%)	127 (10.6%)	60 (5.0%)	88 (7.4%)	1,196
果物	くだもの	43 (3.6%)	103 (8.6%)	244 (20.3%)	285 (23.7%)	218 (18.1%)	309 (25.7%)	1,202
	果物ジュース	209 (17.5%)	274 (22.9%)	262 (21.9%)	214 (17.9%)	109 (9.1%)	129 (10.8%)	1,197
大豆	納豆	169 (14.0%)	206 (17.1%)	363 (30.1%)	277 (23.0%)	125 (10.4%)	64 (5.3%)	1,204
	味噌汁	50 (4.1%)	67 (5.6%)	191 (15.9%)	248 (20.6%)	206 (17.1%)	443 (36.8%)	1,205
	とうふ料理	53 (4.4%)	181 (15.1%)	434 (36.1%)	327 (27.2%)	146 (12.2%)	60 (5.0%)	1,201
	煮豆料理	490 (40.9%)	454 (37.9%)	182 (15.2%)	59 (4.9%)	11 (0.9%)	3 (0.3%)	1,199
牛乳		229 (19.1%)	121 (10.1%)	149 (12.4%)	173 (14.4%)	121 (10.1%)	405 (33.8%)	1,198
豆乳		940 (78.1%)	159 (13.2%)	51 (4.2%)	24 (2.0%)	11 (0.9%)	18 (1.5%)	1,203
ヨーグルト、乳酸菌飲料		52 (4.3%)	104 (8.6%)	253 (21.0%)	315 (26.1%)	157 (13.0%)	326 (27.0%)	1,207

※ 各項目に欠損値があるため、合計は一致しない場合がある。

平成25年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（4歳～6歳用）」結果

こころの健康度・生活習慣に関する調査（4歳～6歳用）の対象5,169人のうち、有効回答は1,565人（30.3%）であった。内訳は、男児779人（49.8%）、女児786人（50.2%）で、平均年齢は4.8歳であった。

現住所は、県内1,053人（67.5%）、県外507人（32.5%）であった。

1. お子様の健康状態について（問1）

健康状態は、「きわめて良好」が404人（26.4%）、「良好」が651人（42.5%）、「普通」が458人（29.9%）、「悪い」が16人（1.0%）、「きわめて悪い」が3人（0.2%）であった。

2. お子様の現在の身長と体重について（問2）

男児の身長・体重の平均は、4歳（平成26年4月1日時点）102.7cm・16.8kg、5歳109.2cm・18.7kg、6歳115.7cm・21.4kgであった。女児の身長・体重の平均は、4歳101.9cm・16.3kg、5歳108.5cm・18.4kg、6歳114.6cm・20.8kgであった。

3. 治療中の病気について（問3）

治療中の病気は、「ない」が978人（64.8%）、「ある」が531人（35.2%）であった。

「ある」と回答した者の内訳は、表5のとおりであった。

表5 治療中の病気の内訳

病名	人数
風邪	155
喘息	107
歯科疾患	98
アレルギー性鼻炎	96
アトピー性皮膚炎	80
中耳炎	47
副鼻腔炎・蓄膿症	32
喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎以外のアレルギー性疾患	24
インフルエンザ	23
てんかん	9
ADHD	3
その他	65

（複数回答）

4. 入院の経験について（問4）

入院の経験は、「ない」が1,103人(71.3%)、「ある」が443人(28.7%)であった。

「ある」と回答した者の内訳(複数回答)は表6のとおりであった。

入院の経験が「ある」と回答した者のうち、この1年以内に病気により入院しなかった(「いずれもなし」と回答した)者は359人であり、この1年以内に入院した者の内訳(複数回答)は表7のとおりであった。

表6 入院時の病気の内訳

病名	人数
肺炎	127
RSウイルス感染症	89
マイコプラズマ肺炎	80
気管支炎	54
喘息	53
胃腸炎	46
ロタウイルス感染症	43
熱性けいれん	41
風邪	30
インフルエンザ	26
鼠径ヘルニア	23
川崎病	15
その他	83

(複数回答)

表7 この1年以内の入院時の病気の内訳

病名	人数
肺炎	15
マイコプラズマ肺炎	9
熱性けいれん	8
鼠径ヘルニア	8
喘息	6
気管支炎	6
風邪	5
胃腸炎	5
RSウイルス感染症	4
ロタウイルス感染症	4
川崎病	4
インフルエンザ	3
その他	19

(複数回答)

5. 検査の経験について（問5）

- 1) CT検査の経験は、「ない」が1,411人(90.8%)、「ある」が96人(6.2%)、「わからない」が47人(3.0%)であった。
- 2) X線を使った検査の経験(CT、レントゲンは除く)は、「ない」が1,406人(91.3%)、「ある」が84人(5.5%)、「わからない」が50人(3.2%)であった。
「ある」と回答した者のうち、「透視検査」が65人、「血管造影検査」が9人、「核医学検査」が2人であった。

6. 病気の治療のための放射線療法の経験について（問6）

病気の治療のための放射線療法の経験は、「ない」が1,509人(97.2%)、「ある」が14人(0.9%)、「わからない」が30人(1.9%)であった。

7. 睡眠時間と昼寝の有無について（問7）

- 1) 就寝時刻は、平均で午後9時10分であり、起床時刻は午前7時2分であった。睡眠時間は、平均で9時間46分であった。
- 2) 昼寝の有無(お子様はお昼寝をしますか)は、「いいえ」が1,002人(64.9%)、「はい」が543人(35.1%)であった。昼寝時間は、平均で1時間39分であった。

8. 普段の運動量について（問8）

運動（普段、運動をどのくらいしていますか）は、「ほとんど毎日している」が612人（41.3%）、「週に2～4回している」が465人（31.4%）、「週1回程度している」が189人（12.7%）、「ほとんどしていない」が217人（14.6%）であった。

9. 食生活について（問9）

食品（飲料）および朝食、外食、調理された食品を食べる（飲む）頻度は、表8（次頁）のとおりであった。

表8 4歳～6歳児の食品(飲料)および朝食、外食、調理された食品を食べる(飲む)頻度
(上段人数/下段割合)

		食べ ない	週に 1回未満	週に 1-2回	週に 3-4回	週に 5-6回	毎日	計
朝食		5 (0.3%)	0 (0.0%)	14 (0.9%)	39 (2.5%)	67 (4.3%)	1,437 (92.0%)	1,562
外食(給食はのぞく)		105 (6.8%)	1,003 (64.6%)	394 (25.4%)	11 (0.7%)	0 (0.0%)	40 (2.6%)	1,553
調理された食品		114 (7.4%)	619 (40.0%)	634 (41.0%)	146 (9.4%)	24 (1.6%)	9 (0.6%)	1,546
ごはん		0 (0.0%)	3 (0.2%)	3 (0.2%)	61 (3.9%)	153 (9.8%)	1,340 (85.9%)	1,560
パン		12 (0.8%)	246 (15.8%)	568 (36.4%)	352 (22.6%)	149 (9.6%)	232 (14.9%)	1,559
魚料理		11 (0.7%)	143 (9.2%)	809 (52.2%)	482 (31.1%)	71 (4.6%)	34 (2.2%)	1,550
肉類	とり肉	11 (0.7%)	253 (16.3%)	920 (59.4%)	331 (21.4%)	30 (1.9%)	5 (0.3%)	1,550
	牛肉、豚肉	20 (1.3%)	108 (7.0%)	765 (49.3%)	561 (36.2%)	80 (5.2%)	17 (1.1%)	1,551
	ハム、ソーセージ	26 (1.7%)	220 (14.3%)	684 (44.5%)	461 (30.0%)	99 (6.4%)	47 (3.1%)	1,537
野菜	緑の葉の野菜	85 (5.5%)	182 (11.7%)	545 (35.1%)	457 (29.4%)	144 (9.3%)	141 (9.1%)	1,554
	赤や黄色の野菜	32 (2.1%)	106 (6.8%)	480 (30.9%)	551 (35.5%)	210 (13.5%)	174 (11.2%)	1,553
	淡色野菜	37 (2.4%)	109 (7.0%)	416 (26.9%)	554 (35.8%)	248 (16.0%)	185 (11.9%)	1,549
	野菜ジュース	650 (41.9%)	497 (32.0%)	219 (14.1%)	94 (6.1%)	38 (2.5%)	53 (3.4%)	1,551
果物	くだもの	43 (2.8%)	122 (7.9%)	345 (22.2%)	407 (26.2%)	270 (17.4%)	366 (23.6%)	1,553
	果物ジュース	349 (22.5%)	448 (28.9%)	352 (22.7%)	203 (13.1%)	87 (5.6%)	112 (7.2%)	1,551
大豆	納豆	166 (10.7%)	398 (25.6%)	608 (39.0%)	256 (16.4%)	85 (5.5%)	44 (2.8%)	1,557
	味噌汁	31 (2.0%)	80 (5.1%)	218 (14.0%)	315 (20.2%)	317 (20.3%)	597 (38.3%)	1,558
	とうふ料理	65 (4.2%)	283 (18.2%)	661 (42.5%)	355 (22.8%)	136 (8.7%)	56 (3.6%)	1,556
	煮豆料理	621 (40.1%)	666 (43.1%)	200 (12.9%)	46 (3.0%)	12 (0.8%)	2 (0.1%)	1,547
牛乳		85 (5.5%)	101 (6.5%)	163 (10.6%)	216 (14.0%)	256 (16.6%)	723 (46.8%)	1,544
豆乳		1,229 (79.3%)	229 (14.8%)	58 (3.7%)	20 (1.3%)	5 (0.3%)	9 (0.6%)	1,550
ヨーグルト、乳酸菌飲料		41 (2.6%)	146 (9.4%)	372 (23.9%)	383 (24.6%)	224 (14.4%)	393 (25.2%)	1,559

※ 各項目に欠損値があるため、合計は一致しない場合がある。

10. 子どもの情緒と行動について（問 10）

- 1) 子どもの情緒と行動(子どもの情緒と行動に関するアンケート(SDQ 日本語版))は、有効回答 1,562 人のうち、16 点^{※1}以上が 224 人(14.3%)、20 点^{※2}以上が 89 人(5.7%)であった(図 1)。平均総合得点は 9.7 点であった。
 男児では有効回答 778 人のうち、16 点以上が 125 人(16.1%)、20 点以上が 55 人(7.1%)であり、女児では有効回答 784 人のうち、16 点以上が 99 人(12.6%)、20 点以上が 34 人(4.3%)であった(図 2)。平均総合得点は男児では 10.4 点、女児では 9.0 点であった。
- 2) 子どもが情緒、集中力、行動、他人との付き合いのいずれか 1 つ以上の領域において困難を抱えているかについて、「いいえ」が 1,156 人(74.4%)、「はい(ささいな困難)」が 324 人(20.9%)、「はい(明らかな困難)」が 63 人(4.1%)、「はい(深刻な困難)」が 10 人(0.6%)であった。
- 3) 2)で「はい」と回答した者のうち、子どもがその困難によって動揺したり、悩んだりしているかについて、「まったくない」が 148 人(38.6%)、「すこしだけ」が 211 人(55.1%)、「かなり」が 18 人(4.7%)、「大いに」が 6 人(1.6%)であった。

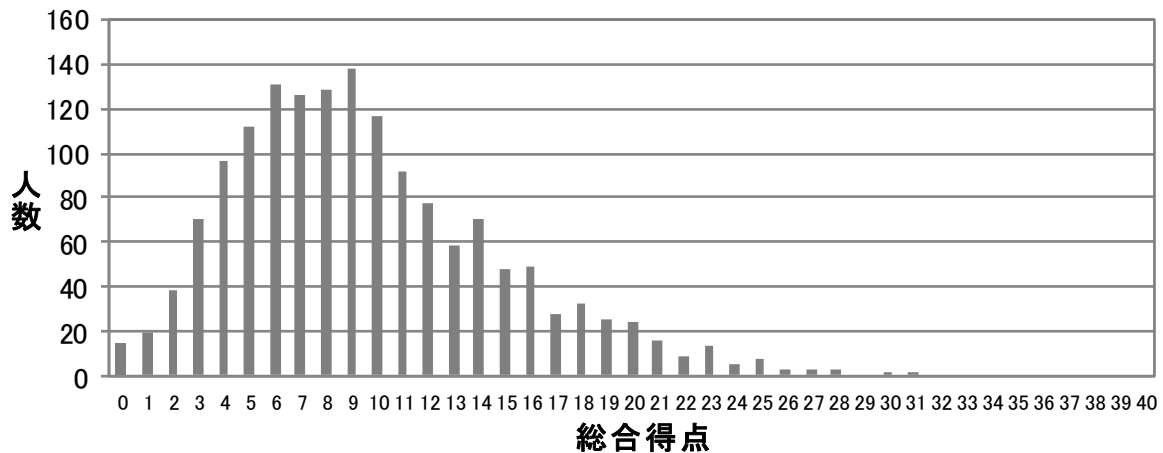


図 1 4歳～6歳の子どもの情緒と行動(SDQ): 全体

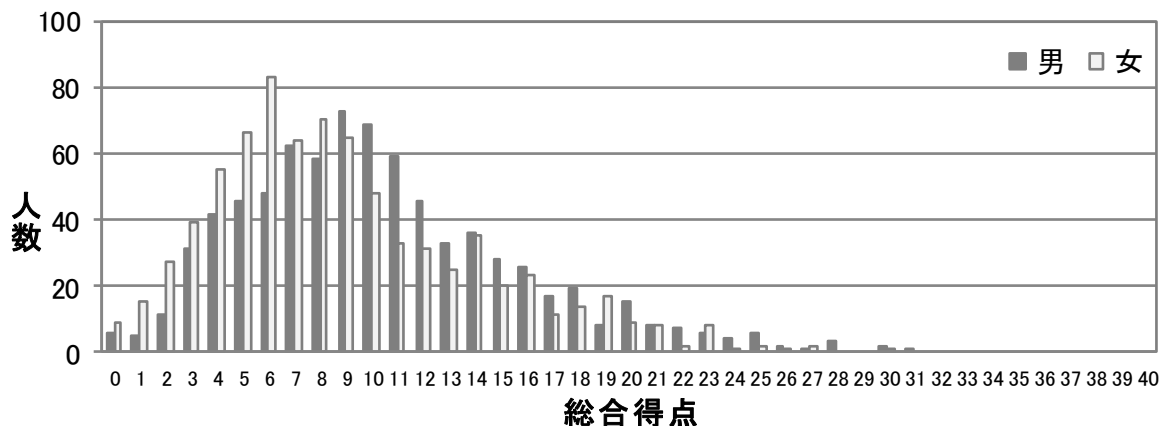


図 2 4歳～6歳の子どもの情緒と行動(SDQ): 男女別

※1 16 点: 先行研究で示されている基準

※2 20 点: 福島県立医科大学の医師等が支援を行うために設けた基準

平成 25 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（小学生用）」結果

こころの健康度・生活習慣に関する調査(小学生用)の対象 11,167 人のうち、有効回答は 3,001 人(26.9%)であった。内訳は、男児 1,528 人(50.9%)、女児 1,473 人(49.1%)で、平均年齢は 9.4 歳であった。

現住所は、県内 2,130 人(71.1%)、県外 865 人(28.9%)であった。

1. お子様の健康状態について（問 1）

健康状態は、「きわめて良好」が 655 人(22.8%)、「良好」が 1,275 人(44.3%)、「普通」が 906 人(31.5%)、「悪い」が 34 人(1.2%)、「きわめて悪い」が 6 人(0.2%)であった。

2. お子様の現在の身長と体重について（問 2）

男児の身長・体重の平均は、1 年生 121.5cm・25.0kg、2 年生 127.6cm・29.1kg、3 年生 132.6cm・31.6kg、4 年生 138.5cm・35.8kg、5 年生 143.8cm・39.1kg、6 年生 152.4cm・44.9kg であった。女児の身長・体重の平均は、1 年生 120.5cm・23.3kg、2 年生 125.1cm・26.8kg、3 年生 131.6cm・29.4kg、4 年生 139.1cm・34.3kg、5 年生 145.0cm・38.3kg、6 年生 150.3cm・44.2kg であった。

3. 治療中の病気について（問 3）

治療中の病気は、「ない」が 1,881 人(65.6%)、「ある」が 986 人(34.4%)であった。

「ある」と回答した者の内訳は、表 9 のとおりであった。

表 9 治療中の病気の内訳

病名	人数
アレルギー性鼻炎	352
歯科疾患	222
アトピー性皮膚炎	148
喘息	137
風邪	110
副鼻腔炎・蓄膿症	77
喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎以外のアレルギー性疾患	52
インフルエンザ	49
ADHD	45
中耳炎	35
てんかん	14
その他	133

(複数回答)

4. 入院の経験について（問4）

入院の経験は、「ない」が1,929人(66.3%)、「ある」が982人(33.7%)であった。

「ある」と回答した者の内訳(複数回答)は表10のとおりであった。

入院の経験が「ある」と回答した者のうち、この1年以内に病気により入院しなかった(「いずれもなし」と回答した)者は884人であり、この1年以内に入院した者の内訳(複数回答)は表11のとおりであった。

表10 入院時の病気の内訳

病名	人数
肺炎	269
喘息	134
マイコプラズマ肺炎	129
気管支炎	120
胃腸炎	120
RSウイルス感染症	106
ロタウイルス感染症	83
熱性けいれん	83
インフルエンザ	76
風邪	63
鼠径ヘルニア	59
川崎病	29
その他	220

(複数回答)

表11 この1年以内の入院時の病気の内訳

病名	人数
マイコプラズマ肺炎	8
喘息	4
肺炎	3
風邪	3
胃腸炎	3
鼠径ヘルニア	3
インフルエンザ	2
熱性けいれん	2
RSウイルス感染症	1
気管支炎	1
川崎病	1
ロタウイルス感染症	0
その他	21

(複数回答)

5. 検査の経験について（問5）

- 1) CT検査の経験は、「ない」が2,470人(83.0%)、「ある」が368人(12.4%)、「わからない」が137人(4.6%)であった。
- 2) X線を使った検査(CT、レントゲンは除く)の経験は、「ない」が2,606人(88.9%)、「ある」が176人(6.0%)、「わからない」が151人(5.1%)であった。
「ある」と回答した者のうち、「透視検査」が118人、「血管造影検査」が29人、「核医学検査」が10人であった。

6. 病気の治療のための放射線療法の経験について（問6）

病気の治療のための放射線療法の経験は、「ない」が2,868人(96.7%)、「ある」が28人(0.9%)、「わからない」が71人(2.4%)であった。

7. 睡眠時間について（問7）

就寝時刻は、平均で午後9時29分であり、起床時刻は午前6時29分であった。睡眠時間は、平均で8時間55分であった。

8. 普段の運動量について（問8）

運動（普段、体育の授業以外に運動をどのくらいしていますか）は、「ほとんど毎日している」が200人（7.1%）、「週に2～4回している」が764人（27.0%）、「週1回程度している」が722人（25.5%）、「ほとんどしていない」が1,143人（40.4%）であった。

9. 食生活について（問9）

食品（飲料）および朝食、外食、調理された食品を食べる（飲む）頻度は、表12（次頁）のとおりであった。

表 12 小学生の食品(飲料)および朝食、外食、調理された食品を食べる(飲む)頻度
(上段人数/下段割合)

		食べ ない	週に 1回未満	週に 1-2回	週に 3-4回	週に 5-6回	毎日	計
朝食		18 (0.6%)	6 (0.2%)	25 (0.8%)	53 (1.8%)	112 (3.7%)	2,777 (92.8%)	2,991
外食(給食はのぞく)		225 (7.6%)	1,961 (66.0%)	660 (22.2%)	16 (0.5%)	3 (0.1%)	105 (3.5%)	2,970
調理された食品		189 (6.4%)	1,302 (43.9%)	1,152 (38.9%)	276 (9.3%)	26 (0.9%)	18 (0.6%)	2,963
ごはん		0 (0.0%)	3 (0.1%)	18 (0.6%)	97 (3.2%)	339 (11.3%)	2,534 (84.7%)	2,991
パン		50 (1.7%)	533 (17.9%)	1,133 (38.1%)	631 (21.2%)	256 (8.6%)	368 (12.4%)	2,971
魚料理		27 (0.9%)	342 (11.5%)	1,576 (53.1%)	881 (29.7%)	102 (3.4%)	41 (1.4%)	2,969
肉類	とり肉	20 (0.7%)	468 (15.8%)	1,738 (58.7%)	664 (22.4%)	57 (1.9%)	14 (0.5%)	2,961
	牛肉、豚肉	15 (0.5%)	176 (5.9%)	1,318 (44.3%)	1,243 (41.8%)	182 (6.1%)	43 (1.4%)	2,977
	ハム、ソーセージ	45 (1.5%)	653 (22.1%)	1,298 (44.0%)	746 (25.3%)	152 (5.1%)	59 (2.0%)	2,953
野菜	緑の葉の野菜	91 (3.1%)	320 (10.7%)	1,086 (36.4%)	896 (30.1%)	322 (10.8%)	266 (8.9%)	2,981
	赤や黄色の野菜	48 (1.6%)	301 (10.1%)	951 (31.9%)	1,031 (34.6%)	358 (12.0%)	288 (9.7%)	2,977
	淡色野菜	46 (1.5%)	173 (5.8%)	726 (24.4%)	1,166 (39.2%)	492 (16.6%)	369 (12.4%)	2,972
	野菜ジュース	1,351 (45.4%)	878 (29.5%)	384 (12.9%)	199 (6.7%)	66 (2.2%)	98 (3.3%)	2,976
果物	くだもの	67 (2.2%)	452 (15.2%)	865 (29.0%)	755 (25.3%)	364 (12.2%)	479 (16.1%)	2,982
	果物ジュース	841 (28.3%)	990 (33.3%)	620 (20.9%)	289 (9.7%)	105 (3.5%)	125 (4.2%)	2,970
大豆	納豆	303 (10.2%)	846 (28.4%)	1,153 (38.7%)	465 (15.6%)	137 (4.6%)	79 (2.6%)	2,983
	味噌汁	40 (1.3%)	147 (4.9%)	360 (12.1%)	651 (21.9%)	600 (20.1%)	1,181 (39.6%)	2,979
	とうふ料理	96 (3.2%)	591 (19.8%)	1,251 (42.0%)	710 (23.8%)	214 (7.2%)	119 (4.0%)	2,981
	煮豆料理	1,185 (39.9%)	1,293 (43.6%)	373 (12.6%)	88 (3.0%)	16 (0.5%)	12 (0.4%)	2,967
牛乳		105 (3.5%)	113 (3.8%)	158 (5.3%)	232 (7.8%)	574 (19.3%)	1,790 (60.2%)	2,972
豆乳		2,432 (81.8%)	391 (13.2%)	91 (3.1%)	34 (1.1%)	11 (0.4%)	14 (0.5%)	2,973
ヨーグルト、乳酸菌飲料		102 (3.4%)	367 (12.3%)	785 (26.3%)	702 (23.5%)	367 (12.3%)	665 (22.3%)	2,988

※ 各項目に欠損値があるため、合計は一致しない場合がある。

10. 子どもの情緒と行動について（問 10）

- 1) 子どもの情緒と行動(子どもの情緒と行動に関するアンケート(SDQ 日本語版))は、有効回答 2,996 人のうち、16 点^{※1}以上が 429 人(14.3%)、20 点^{※2}以上が 171 人(5.7%)であった(図 3)。平均総合得点は 9.4 点であった。
 男児では有効回答 1,524 人のうち、16 点以上が 245 人(16.1%)、20 点以上が 108 人(7.1%)であり、女児では有効回答 1,472 人のうち、16 点以上が 184 人(12.5%)、20 点以上が 63 人(4.3%)であった(図 4)。平均総合得点は男児では 9.9 点、女児では 8.9 点であった。
- 2) 子どもが情緒、集中力、行動、他人との付き合いのいずれか 1 つ以上の領域において困難を抱えているかについて、「いいえ」が 2,073 人(69.4%)、「はい(ささいな困難)」が 751 人(25.1%)、「はい(明らかな困難)」が 133 人(4.5%)、「はい(深刻な困難)」が 30 人(1.0%)であった。
- 3) 2)で「はい」と回答した者のうち、子どもがその困難によって動揺したり、悩んだりしているかについて、「まったくない」が 221 人(25.0%)、「すこしだけ」が 581 人(65.8%)、「かなり」が 66 人(7.5%)、「大いに」が 15 人(1.7%)であった。

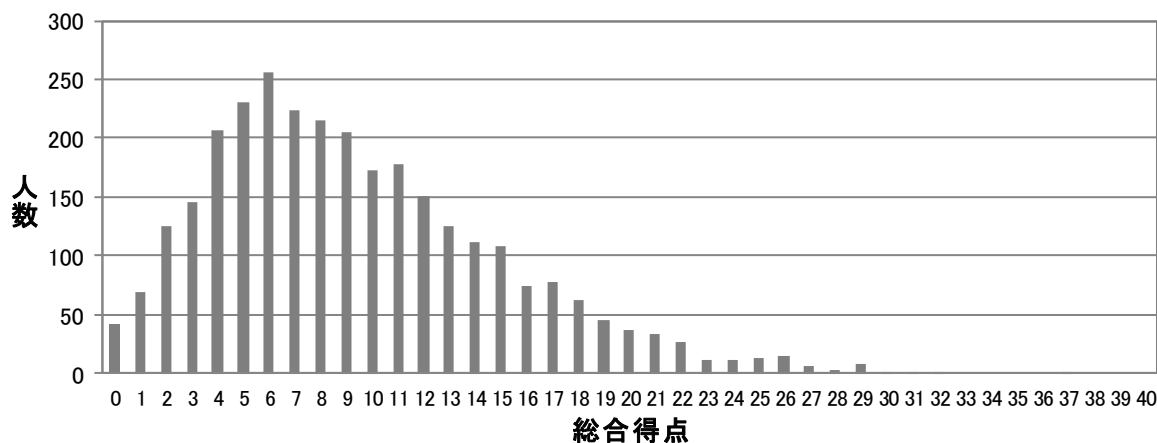


図 3 小学生の子ども（全体）の情緒と行動(SDQ) : 全体

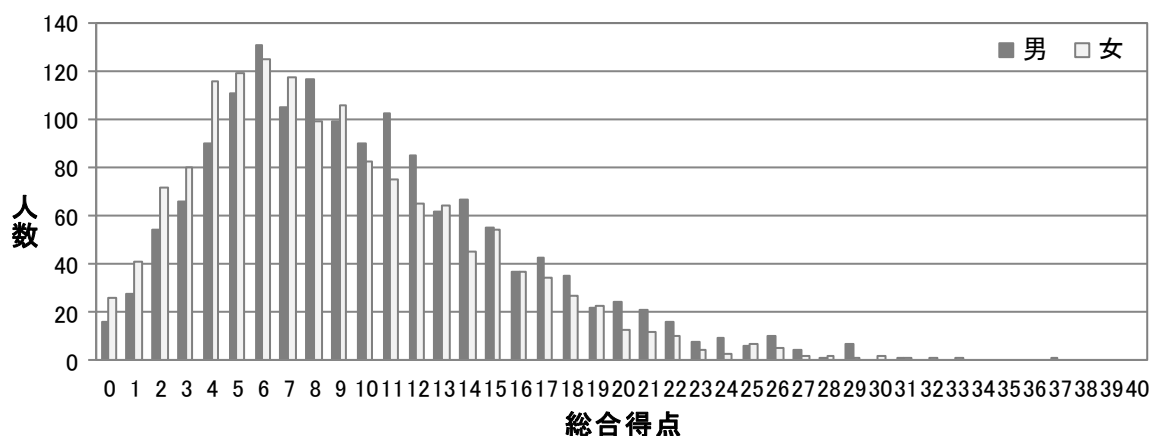


図 4 小学生の子ども（男女別）の情緒と行動(SDQ) : 男女別

※1 16 点: 先行研究で示されている基準

※2 20 点: 福島県立医科大学の医師等が支援を行うために設けた基準

平成 25 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（中学生用）」結果

こころの健康度・生活習慣に関する調査(中学生用)の対象 6,013 人のうち、有効回答は 1,348 人(22.4%)であった。内訳は、男子 663 人(49.2%)、女子 685 人(50.8%)で、平均年齢は 13.8 歳であった。

現住所は、県内 1,031 人(76.7%)、県外 313 人(23.3%)であった。

1. 健康状態について（問 1）

健康状態は、「きわめて良好」が 262 人(30.4%)、「良好」が 264 人(30.7%)、「普通」が 310 人(36.0%)、「悪い」が 23 人(2.7%)、「きわめて悪い」が 2 人(0.2%)であった。

2. 現在の身長と体重について（問 2）

男子の身長・体重の平均は、1 年生 159.4cm・53.8kg、2 年生 165.3cm・56.9kg、3 年生 167.2cm・60.3kg であった。女子の身長・体重の平均は、1 年生 154.2cm・46.0kg、2 年生 155.9cm・50.2kg、3 年生 156.8cm・49.8kg であった。

3. 睡眠について（問 3）

- 1) 睡眠時間は、平均で 7 時間 11 分であった。
- 2) 睡眠満足度は、「十分だと思う」が 373 人(43.0%)、「やや足りない」が 400 人(46.1%)、「足りない」が 95 人(10.9%)であった。

4. 普段の運動量について（問 4）

運動(普段、体育の授業以外に運動をどのくらいしていますか)は、「ほとんど毎日している」が 407 人(46.7%)、「週に 2~4 回している」が 124 人(14.2%)、「週 1 回程度している」が 62 人(7.1%)、「ほとんどしていない」が 278 人(31.9%)であった。

5. 食生活について（問 5）

食品(飲料)および朝食、外食、調理された食品を食べる(飲む)頻度は、表 13(次頁)のとおりであった。

表 13 中学生の食品(飲料)および朝食、外食、調理された食品を食べる(飲む)頻度
(上段人数/下段割合)

		食べ ない	週に 1回未満	週に 1-2回	週に 3-4回	週に 5-6回	毎日	計
朝食		17 (2.0%)	10 (1.1%)	11 (1.3%)	18 (2.1%)	52 (6.0%)	762 (87.6%)	870
外食(給食はのぞく)		139 (16.1%)	568 (65.9%)	126 (14.6%)	4 (0.5%)	0 (0.0%)	25 (2.9%)	862
調理された食品		56 (6.5%)	347 (40.4%)	342 (39.8%)	83 (9.7%)	19 (2.2%)	12 (1.4%)	859
ごはん		0 (0.0%)	1 (0.1%)	6 (0.7%)	37 (4.3%)	125 (14.4%)	700 (80.6%)	869
パン		24 (2.8%)	183 (21.2%)	329 (38.1%)	145 (16.8%)	73 (8.5%)	109 (12.6%)	863
魚料理		17 (2.0%)	115 (13.3%)	440 (51.0%)	237 (27.5%)	40 (4.6%)	13 (1.5%)	862
肉類	とり肉	5 (0.6%)	141 (16.4%)	477 (55.4%)	201 (23.3%)	29 (3.4%)	8 (0.9%)	861
	牛肉、豚肉	7 (0.8%)	57 (6.6%)	363 (42.1%)	345 (40.0%)	68 (7.9%)	23 (2.7%)	863
	ハム、ソーセージ	26 (3.0%)	193 (22.5%)	372 (43.4%)	197 (23.0%)	49 (5.7%)	21 (2.4%)	858
野菜	緑の葉の野菜	26 (3.0%)	66 (7.6%)	268 (31.0%)	252 (29.1%)	119 (13.8%)	134 (15.5%)	865
	赤や黄色の野菜	16 (1.8%)	80 (9.2%)	251 (29.0%)	270 (31.1%)	136 (15.7%)	114 (13.1%)	867
	淡色野菜	17 (2.0%)	46 (5.3%)	175 (20.3%)	309 (35.8%)	151 (17.5%)	164 (19.0%)	862
	野菜ジュース	391 (45.2%)	254 (29.4%)	96 (11.1%)	56 (6.5%)	31 (3.6%)	37 (4.3%)	865
果物	くだもの	35 (4.0%)	175 (20.2%)	234 (27.1%)	194 (22.4%)	107 (12.4%)	120 (13.9%)	865
	果物ジュース	240 (27.8%)	264 (30.6%)	169 (19.6%)	90 (10.4%)	54 (6.3%)	46 (5.3%)	863
大豆	納豆	155 (18.0%)	296 (34.3%)	243 (28.2%)	104 (12.1%)	42 (4.9%)	23 (2.7%)	863
	味噌汁	19 (2.2%)	58 (6.7%)	96 (11.1%)	157 (18.1%)	167 (19.2%)	371 (42.7%)	868
	とうふ料理	35 (4.0%)	189 (21.8%)	312 (36.0%)	191 (22.1%)	80 (9.2%)	59 (6.8%)	866
	煮豆料理	359 (41.7%)	344 (40.0%)	112 (13.0%)	36 (4.2%)	4 (0.5%)	5 (0.6%)	860
牛乳		50 (5.8%)	36 (4.2%)	49 (5.7%)	65 (7.5%)	191 (22.1%)	474 (54.8%)	865
豆乳		666 (76.8%)	129 (14.9%)	29 (3.3%)	24 (2.8%)	7 (0.8%)	12 (1.4%)	867
ヨーグルト、乳酸菌飲料		54 (6.2%)	127 (14.6%)	220 (25.3%)	185 (21.3%)	90 (10.4%)	192 (22.1%)	868

※ 各項目に欠損値があるため、合計は一致しない場合がある。

6. 震災で経験したことについて ※ 複数回答（問6）

震災にて経験したことは、「地震」が823人、「津波」が114人、「原子力発電所事故」が802人、「いずれもなし」が2人であった。

7. 治療中の病気について（問7）

治療中の病気は、「ない」が942人（72.9%）、「ある」が351人（27.1%）であった。

「ある」と回答した者の内訳は、表14のとおりであった。

表14 治療中の病気の内訳

病名	人数
アレルギー性鼻炎	122
歯科疾患	73
アトピー性皮膚炎	50
喘息	29
副鼻腔炎・蓄膿症	21
喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎以外のアレルギー性疾患	20
ADHD	20
風邪	13
インフルエンザ	11
てんかん	9
中耳炎	7
その他	78

（複数回答）

8. 入院の経験について（問8）

入院の経験は、「ない」が 837 人 (64.7%)、「ある」が 456 人 (35.3%) であった。

「ある」と回答した者の内訳(複数回答)は表 15 のとおりであった。

入院の経験が「ある」と回答した者のうち、この 1 年以内に病気により入院しなかった(「いずれもなし」と回答した)者は 419 人であり、この 1 年以内に入院した者の内訳(複数回答)は表 16 のとおりであった。

表 15 入院時の病気の内訳

病名	人数
肺炎	130
喘息	85
気管支炎	59
マイコプラズマ肺炎	58
胃腸炎	58
インフルエンザ	54
風邪	36
熱性けいれん	36
ロタウイルス感染症	23
鼠径ヘルニア	18
川崎病	15
RS ウイルス感染症	13
その他	89

(複数回答)

表 16 この 1 年以内の入院時の病気の内訳

病名	人数
肺炎	4
マイコプラズマ肺炎	3
喘息	2
気管支炎	1
インフルエンザ	1
熱性けいれん	1
RS ウイルス感染症	0
風邪	0
胃腸炎	0
ロタウイルス感染症	0
川崎病	0
鼠径ヘルニア	0
その他	11

(複数回答)

9. 検査の経験について（問9）

1) CT 検査の経験は、「ない」が 1,062 人 (80.9%)、「ある」が 208 人 (15.9%)、「わからない」が 42 人 (3.2%) であった。

2) X 線を使った検査の経験 (CT、レントゲンは除く) は、「ない」が 1,156 人 (89.1%)、「ある」が 86 人 (6.6%)、「わからない」が 55 人 (4.2%) であった。

「ある」と回答した者のうち、「透視検査」が 61 人、「血管造影検査」が 20 人、「核医学検査」が 2 人であった。

10. 病気の治療のための放射線療法の経験について（問10）

病気の治療のための放射線療法の経験は、「ない」が 1,278 人 (97.7%)、「ある」が 7 人 (0.5%)、「わからない」が 23 人 (1.8%) であった。

11. 子どもの情緒と行動について（問 11）

- 1) 子どもの情緒と行動(子どもの情緒と行動に関するアンケート(SDQ 日本語版))は、有効回答 1,316 人のうち、16 点^{※1}以上が 176 人(13.4%)、20 点^{※2}以上が 89 人(6.8%)であった(図 5)。平均総合得点 8.7 点であった。
男子では有効回答 652 人のうち、16 点以上が 103 人(15.8%)、20 点以上が 49 人(7.5%)であり、女子では有効回答 664 人のうち、16 点以上が 73 人(11.0%)、20 点以上が 40 人(6.0%)であった(図 6)。平均総合得点は男子では 9.3 点、女子では 8.1 点であった。
- 2) 子どもが情緒、集中力、行動、他人との付き合いのいずれか 1 つ以上の領域において困難を抱えているかについて、「いいえ」が 926 人(69.4%)、「はい(ささいな困難)」が 300 人(22.5%)、「はい(明らかな困難)」が 70 人(5.2%)、「はい(深刻な困難)」が 39 人(2.9%)であった。
- 3) 2)で「はい」と回答した者のうち、子どもがその困難によって動揺したり、悩んだりしているかについて、「まったくない」が 65 人(16.6%)、「すこしだけ」が 267 人(68.3%)、「かなり」が 41 人(10.5%)、「大いに」が 18 人(4.6%)であった。

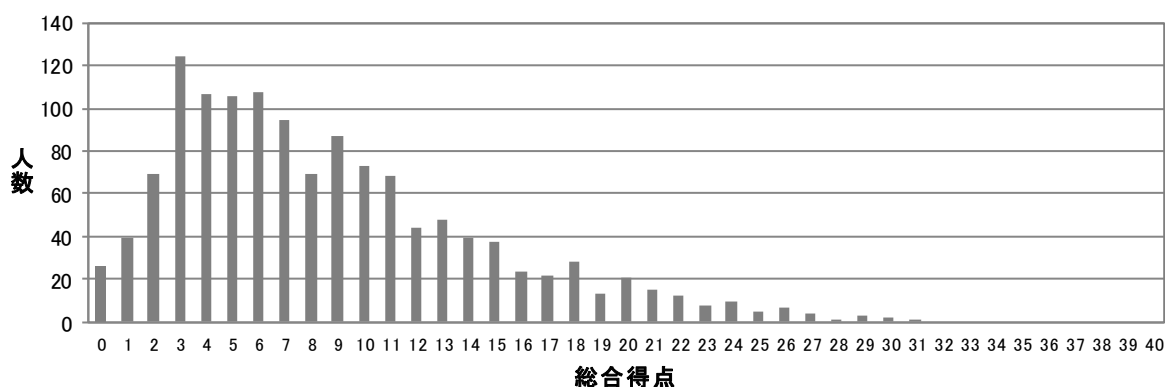


図 5 中学生の子どもの情緒と行動(SDQ): 全体

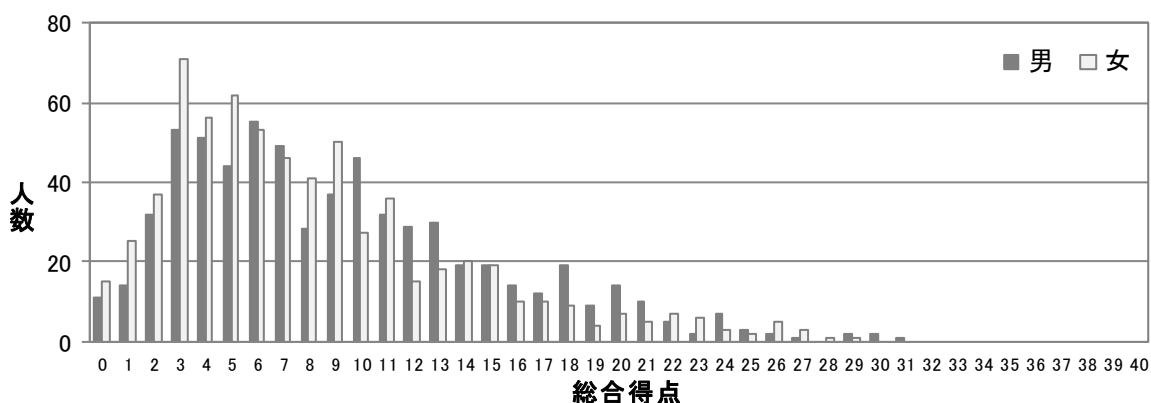


図 6 中学生の子どもの情緒と行動(SDQ): 男女別

※1 16 点: 先行研究で示されている基準

※2 20 点: 福島県立医科大学の医師等が支援を行うために設けた基準

平成 25 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（一般用）」結果

こころの健康度・生活習慣に関する調査（一般用）の対象 185,859 人のうち、有効回答は 27,598 人（14.8%）であった。内訳は、男性 12,317 人（44.6%）、女性 15,281 人（55.4%）で、平均年齢は 60.4 歳であった。

現住所は、県内 21,489 人（78.8%）、県外 5,766 人（21.2%）であった。

1. 健康状態について（問 1）

健康状態は、「きわめて良好」が 834 人（3.5%）、「良好」が 3,757 人（15.8%）、「普通」が 14,528 人（61.1%）、「悪い」が 4,229 人（17.8%）、「きわめて悪い」が 423 人（1.8%）であった。

2. 身長と体重について（問 2）

1) 男性の身長・体重の平均は、165.8cm・66.4kg であり、BMI の平均は、24.1 kg/m² であった。
男性の BMI 18.5 kg/m² 未満は 407 人（3.6%）、18.5 kg/m² 以上 30 kg/m² 未満は 10,206 人（91.1%）、30 kg/m² 以上 40 kg/m² 未満は 556 人（5.0%）、40 kg/m² 以上は 31 人（0.3%）であった。

女性の身長・体重の平均は、153.2cm・54.4kg であり、BMI の平均は、23.2 kg/m² であった。
女性の BMI 18.5 kg/m² 未満は 1,086 人（8.1%）、18.5 kg/m² 以上 30 kg/m² 未満は 11,613 人（86.6%）、30 kg/m² 以上 40 kg/m² 未満は 654 人（4.9%）、40 kg/m² 以上は 50 人（0.4%）であった。

2) 体重変化（1 年前と比べて体重に変化はありましたか）は、「3kg 以上増えた」が 4,882 人（18.6%）、「ほぼ変わらない（±3kg 以内）」が 18,718 人（71.5%）、「3kg 以上減った」が 2,594 人（9.9%）であった。

男性の体重変化は、「3kg 以上増えた」が 2,047 人（17.4%）、「ほぼ変わらない（±3kg 以内）」が 8,531 人（72.6%）、「3kg 以上減った」が 1,171 人（10.0%）であった。

女性の体重変化は、「3kg 以上増えた」が 2,835 人（19.6%）、「ほぼ変わらない（±3kg 以内）」が 10,187 人（70.5%）、「3kg 以上減った」が 1,423 人（9.9%）であった。

3. 既往歴について（問3）

既往歴（今まで、次のような病気にかかっていると医師に診断されたことがありますか）は、表 17 のとおりであった。

この 1 年以内に医師に診断されたものの内訳（複数回答）は表 18（次頁）のとおりであり、「いずれもなし」と回答した者は 5,435 人であった。

表 17 一般の傷病別の診断経験および通院状況（上段人数／下段割合）

傷病名	有効回答数	診断された経験		現在の通院状況	
		ない	ある	はい	いいえ
高血圧 （または、血圧が高い）	26,338	14,914 (56.6%)	11,424 (43.4%)	10,119 (90.2%)	1,100 (9.8%)
糖尿病 （または、血糖が高い）	25,823	22,144 (85.8%)	3,679 (14.2%)	3,104 (86.9%)	467 (13.1%)
高脂血症 （または、コレステロールや中性脂肪が高い）	25,881	16,701 (64.5%)	9,180 (35.5%)	6,094 (68.8%)	2,769 (31.2%)
精神疾患	25,975	22,994 (88.5%)	2,981 (11.5%)	2,168 (75.7%)	697 ^(※) (24.3%)
がん （白血病やリンパ腫を含む）	26,299	24,610 (93.6%)	1,689 (6.4%)		
脳卒中	26,203	25,006 (95.4%)	1,197 (4.6%)		
（脳卒中の種類）複数回答					
脳こうそく			878		
脳出血			141		
くも膜下出血			120		
その他			29		
わからない			25		
心臓病	26,327	22,837 (86.7%)	3,490 (13.3%)		
（心臓病の種類）複数回答					
心筋梗塞			422		
狭心症			977		
不整脈			1,823		
その他			471		
わからない			164		
慢性肝炎	26,398	25,873 (98.0%)	525 (2.0%)		
（慢性肝炎の種類）複数回答					
B 型肝炎			147		
C 型肝炎			175		
その他			119		
肺炎 （この 10 年くらいの間で）	26,470	25,525 (96.4%)	945 (3.6%)		

（※）うち、338 人は、「現在は改善しているため、通院はしていない」

表 17(続き) 一般の傷病別の診断経験および通院状況(上段人数/下段割合)

傷病名	有効 回答数	診断された経験	
		ない	ある
50歳以後の骨折 (調査票記入時点で50歳以上の回答を集計)	19,458	17,098 (87.9%)	2,360 (12.1%)
甲状腺疾患	26,306	25,292 (96.1%)	1,014 (3.9%)
(甲状腺疾患種類)複数回答			
甲状腺機能亢進症(バセドウ病)			245
甲状腺機能低下症			354
その他			207

表 18 この1年以内に医師に診断された病気

病名	人数
高血圧	8,080
糖尿病	2,578
高脂血症	3,666
精神疾患	1,420
がん	811
脳卒中	380
心臓病	1,957
慢性肝炎	284
肺炎	414
骨折(※)	960
甲状腺疾患	561

(複数回答)

(※)調査票記入時点で50歳以上の回答を集計

4. 検査の経験について(問4)

- 1) CT検査の経験は、「ない」が13,265人(49.8%)、「ある」が12,439人(46.7%)、「わからない」が958人(3.6%)であった。
- 2) 透視検査の経験は、「ない」が10,863人(41.2%)、「ある」が14,952人(56.7%)、「わからない」が567人(2.1%)であった。
- 3) 血管造影検査、核医学検査、PET検査のいずれかの経験は、「ない」が21,368人(81.4%)、「ある」が3,595人(13.7%)、「わからない」が1,295人(4.9%)であった。
「ある」と回答した者のうち、「血管造影検査」が2,432人、「核医学検査」が286人、「PET検査」が888人であった。

5. 病気の治療のための放射線療法の経験について(問5)

病気の治療のための放射線療法の経験は、「ない」が24,743人(93.1%)、「ある」が1,237人(4.7%)、「わからない」が584人(2.2%)であった。

6. 日常生活機能について（問6）

- 1) 日常生活機能(それぞれの行為について、ひとりでできるかどうかをお答えください)は、表 19 のとおりであった。

表 19 一般の日常生活機能(人数(割合))

日常生活での行為	ひとりでできる	ひとりではできない	有効回答数
1. 介助なしに食事をする(食事のしたくは含まない)	26,740 (98.8%)	328 (1.2%)	27,068
2. 介助なしに衣服の着替えをする	26,460 (98.1%)	517 (1.9%)	26,977
3. 介助なしにトイレで用をたす	26,586 (98.6%)	389 (1.4%)	26,975
4. 日用品の買い物をする	25,390 (94.1%)	1,594 (5.9%)	26,984

- 2) レクリエーション活動(レクリエーション活動(カラオケやゲートボール等)や地域の仕事(お祭り等)へ参加することがありますか)は、「ない、めったにない」が 16,622 人(62.0%)、「ときどき参加する」が 7,738 人(28.9%)、「よく参加する」が 2,458 人(9.2%)であった。

7. 睡眠について（問7）

- 1) 睡眠時間は、平均で7時間2分であった。
- 2) 睡眠満足度は、「満足している」が 9,163 人(39.4%)、「少し不満」が 10,378 人(44.7%)、「かなり不満」が 3,048 人(13.1%)、「非常に不満か、全く眠れなかった」が 652 人(2.8%)であった。
- 3) 睡眠に関する経験(以下の経験が少なくとも週3回以上ありましたか)は、表 20 のとおりであった。

表 20 一般の睡眠に関する経験(人数(割合))

	ある	ない	有効回答数
1. 夜、床に入ってから寝つくまでの時間がかかる	10,466 (44.1%)	13,291 (55.9%)	23,757
2. 夜間、睡眠途中で目が覚める	16,015 (67.0%)	7,887 (33.0%)	23,902
3. 希望する起床時刻より早く目覚め、それ以上眠れない	9,832 (42.0%)	13,592 (58.0%)	23,424
4. 総睡眠時間が不足する	8,290 (36.0%)	14,712 (64.0%)	23,002
5. 日中の気分がめいる	6,492 (28.5%)	16,326 (71.5%)	22,818
6. 日中の身体的および精神的な活動が低下する	7,165 (31.1%)	15,884 (68.9%)	23,049
7. 日中の眠気	11,442 (49.0%)	11,920 (51.0%)	23,362

8. 運動について（問8）

運動は、「ほとんど毎日している」が 4,325 人(16.0%)、「週に2~4回している」が 6,467 人(23.9%)、「週1回程度している」が 4,169 人(15.4%)、「ほとんどしていない」が 12,143 人(44.8%)であった。

9. 笑う機会について（問9）

笑う機会（普段の生活で、声を出して笑う機会はどのくらいありますか）は、「ほぼ毎日」が7,057人（26.0%）、「週に1～5回程度」が10,972人（40.5%）、「月に1～3回程度」が5,371人（19.8%）、「ほとんどない」が3,722人（13.7%）であった。

10. 喫煙について（問10）

- 1) 受動喫煙（この10年ほどの間に、家庭や職場などで人が吸ったタバコの煙を吸わされることがありましたか）は、「毎日」が5,346人（20.6%）、「週4～5日程度」が1,621人（6.2%）、「ときどき」が7,283人（28.0%）、「めったにない」が11,739人（45.2%）であった。
- 2) 震災以前の喫煙（平成23年3月11日の震災以前に、タバコを吸っていましたか？）は、「吸っていなかった」が17,783人（70.5%）、「吸っていた」が7,428人（29.5%）であった。
- 3) 喫煙（タバコ（紙巻きタバコ）を吸いますか。葉巻やパイプは除きます。）は、「吸ったことがない」が13,688人（58.4%）、「やめた」が5,648人（24.1%）、「吸っている」が4,085人（17.4%）であった。
「吸っている」と回答した人のうち、平均1日本数は22.1本、平均喫煙年数は29.0年であった。

11. 飲酒について（問11）

- 1) 震災以前の飲酒は、「飲んでいなかった、またはほとんど飲んでいなかった（月に1回未満）」が13,530人（52.9%）、「飲んでいて（月に1回以上）」が12,053人（47.1%）であった。
- 2) 飲酒（現在、お酒（アルコール飲料）を飲みますか）は、「飲まない、または、ほとんど飲まない（月に1回未満）」が13,174人（53.0%）、「やめた」が839人（3.4%）、「飲む（月に1回以上）」が10,841人（43.6%）であった。
- 3) 「飲む（月に1回以上）」と回答した人のうち、お酒を飲む頻度は、週に0回が42人（0.4%）、1回が1,628人（15.8%）、2回が976人（9.5%）、3回が1,024人（10.0%）、4回が632人（6.1%）、5回が1,182人（11.5%）、6回が1,286人（12.5%）、7回が3,517人（34.2%）であった。
- 4) 1日あたりの平均飲酒量は、日本酒換算で約1.0合であった。飲酒（問11の2）の有効回答者24,854人のうち1,962人（7.9%）が多量飲酒者（日本酒2合以上）であった。
- 5) 飲酒に関する経験（過去30日間を振り返って、次のことについてお尋ねします（CAGE:アルコール依存尺度））の各項目への回答状況は、表21（次頁）のとおりであった。「はい」という回答を1点とし、4項目の合計点を算出した。
年代別の結果は、表22（次頁）のとおりで、全体では0点が5,972人（59.9%）、1点が2,348人（23.6%）、2点が987人（9.9%）、3点が491人（4.9%）、4点が164人（1.6%）であった。
男性では、0点が3,525人（53.4%）、1点が1,775人（26.9%）、2点が763人（11.6%）、3点が401人（6.1%）、4点が132人（2.0%）であり、女性では、0点が2,447人（72.7%）、1点が573人（17.0%）、2点が224人（6.7%）、3点が90人（2.7%）、4点が32人（1.0%）であった。

表 21 飲酒に関する経験(上段人数/下段割合)

		いいえ	はい	有効 回答数
1	飲酒量を減らさなければならぬと感じたことがありますか？	6,798 (67.6%)	3,261 (32.4%)	10,059
2	他人があなたの飲酒を批難するので気にさわったことがありますか？	9,024 (90.1%)	987 (9.9%)	10,011
3	自分の飲酒について悪いとか申し訳ないと感じたことがありますか？	8,684 (86.6%)	1,347 (13.4%)	10,031
4	神経を落ち着かせたり、二日酔いを治すために、「迎え酒」をしたことがありますか？	9,079 (90.6%)	946 (9.4%)	10,025

※回答数が異なるため、合計が一致しない場合がある。

表 22 年代別の飲酒に関する経験(上段人数/下段割合)

	0点	1点	2点	3点	4点	有効 回答数
20代	303 (74.3%)	58 (14.2%)	32 (7.8%)	14 (3.4%)	1 (0.2%)	408
30代	738 (65.1%)	215 (19.0%)	101 (8.9%)	60 (5.3%)	20 (1.8%)	1,134
40代	761 (61.7%)	265 (21.5%)	131 (10.6%)	57 (4.6%)	20 (1.6%)	1,234
50代	996 (56.6%)	449 (25.5%)	190 (10.8%)	88 (5.0%)	37 (2.1%)	1,760
60代	1,747 (57.6%)	751 (24.7%)	305 (10.0%)	174 (5.7%)	58 (1.9%)	3,035
70代以上	1,427 (59.7%)	610 (25.5%)	228 (9.5%)	98 (4.1%)	28 (1.2%)	2,391
全体	5,972 (59.9%)	2,348 (23.6%)	987 (9.9%)	491 (4.9%)	164 (1.6%)	9,962

12. 食生活について (問 12)

食品(飲料)および朝食、外食、調理された食品を食べる(飲む)頻度は、表 23(次頁)のとおりであった。

表 23 一般の食品(飲料)および朝食、外食、調理された食品を食べる(飲む)頻度
(上段人数/下段割合)

		食べ ない	週に 1回未満	週に 1-2回	週に 3-4回	週に 5-6回	毎日	計
朝食		1,124 (4.2%)	256 (1.0%)	572 (2.1%)	857 (3.2%)	958 (3.6%)	22,902 (85.9%)	26,669
外食		7,151 (29.0%)	10,889 (44.1%)	4,098 (16.6%)	880 (3.6%)	344 (1.4%)	1,320 (5.3%)	24,682
調理された食品		3,770 (15.0%)	8,146 (32.3%)	7,401 (29.4%)	3,491 (13.8%)	1,059 (4.2%)	1,349 (5.3%)	25,216
ごはん		240 (0.9%)	180 (0.7%)	466 (1.7%)	1,436 (5.4%)	2,378 (8.9%)	22,023 (82.4%)	26,723
パン		2,811 (11.4%)	7,469 (30.3%)	6,150 (25.0%)	2,998 (12.2%)	1,235 (5.0%)	3,967 (16.1%)	24,630
魚料理		422 (1.6%)	2,684 (10.4%)	8,264 (31.9%)	8,654 (33.4%)	2,546 (9.8%)	3,362 (13.0%)	25,932
肉類	とり肉	1,684 (6.7%)	7,068 (28.0%)	10,665 (42.3%)	4,662 (18.5%)	676 (2.7%)	481 (1.9%)	25,236
	牛肉、豚肉	986 (3.8%)	4,680 (18.1%)	10,965 (42.3%)	7,417 (28.6%)	1,180 (4.6%)	682 (2.6%)	25,910
	ハム、ソーセージ	2,812 (11.2%)	9,078 (36.1%)	8,284 (32.9%)	3,452 (13.7%)	758 (3.0%)	771 (3.1%)	25,155
野菜	緑の葉の野菜	466 (1.8%)	2,419 (9.2%)	5,976 (22.7%)	7,080 (26.8%)	3,833 (14.5%)	6,609 (25.1%)	26,383
	赤や黄色の野菜	456 (1.7%)	2,998 (11.4%)	6,762 (25.7%)	7,412 (28.2%)	3,785 (14.4%)	4,892 (18.6%)	26,305
	淡色野菜	278 (1.1%)	1,551 (5.9%)	4,892 (18.6%)	7,969 (30.3%)	4,905 (18.7%)	6,684 (25.4%)	26,279
	野菜ジュース	11,098 (43.7%)	6,624 (26.1%)	3,211 (12.6%)	1,746 (6.9%)	790 (3.1%)	1,953 (7.7%)	25,422
果物	くだもの	1,647 (6.3%)	4,469 (17.0%)	5,256 (20.0%)	4,762 (18.1%)	2,838 (10.8%)	7,368 (28.0%)	26,340
	果物ジュース	10,646 (42.4%)	7,526 (30.0%)	3,590 (14.3%)	1,657 (6.6%)	653 (2.6%)	1,027 (4.1%)	25,099
大豆	納豆	2,567 (9.8%)	4,850 (18.5%)	6,666 (25.4%)	5,130 (19.5%)	2,508 (9.6%)	4,533 (17.3%)	26,254
	味噌汁	809 (3.1%)	1,742 (6.6%)	2,834 (10.7%)	4,050 (15.3%)	3,512 (13.3%)	13,509 (51.1%)	26,456
	とうふ料理	791 (3.0%)	4,295 (16.4%)	7,878 (30.0%)	7,057 (26.9%)	3,184 (12.1%)	3,038 (11.6%)	26,243
	煮豆料理	6,784 (26.5%)	10,000 (39.0%)	4,968 (19.4%)	2,205 (8.6%)	806 (3.1%)	879 (3.4%)	25,642
牛乳		7,044 (27.6%)	4,204 (16.5%)	3,331 (13.1%)	2,726 (10.7%)	1,679 (6.6%)	6,507 (25.5%)	25,491
豆乳		17,838 (71.1%)	3,805 (15.2%)	1,274 (5.1%)	792 (3.2%)	415 (1.7%)	965 (3.8%)	25,089
ヨーグルト、乳酸菌飲料		3,722 (14.0%)	4,376 (16.5%)	4,359 (16.4%)	3,708 (13.9%)	2,397 (9.0%)	8,033 (30.2%)	26,595

※ 各項目に欠損値があるため、合計は一致しない場合がある。

13. 全般的な精神健康状態について（問 13）

1) 全般的な精神健康状態 (K6) は、有効回答 22,836 人のうち、13 点^{*1}以上が 2,349 人 (10.3%) であった (図 7)。平均点は 5.3 点であった。

男性では有効回答 10,338 人のうち、13 点以上が 917 人 (8.9%) であり、女性では有効回答 12,498 人のうち、13 点以上が 1,432 人 (11.5%) であった (図 8)。男性の平均点は 4.8 点、女性の平均点は 5.7 点であった。

年齢階級別は、表 24 (次頁) のとおりである。

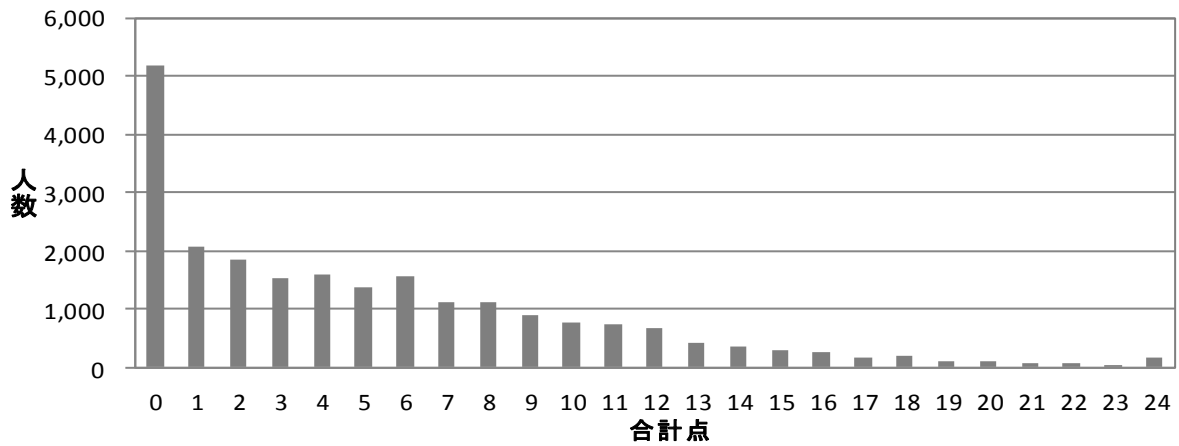


図 7 全般的な精神健康状態 (K6) : 全体

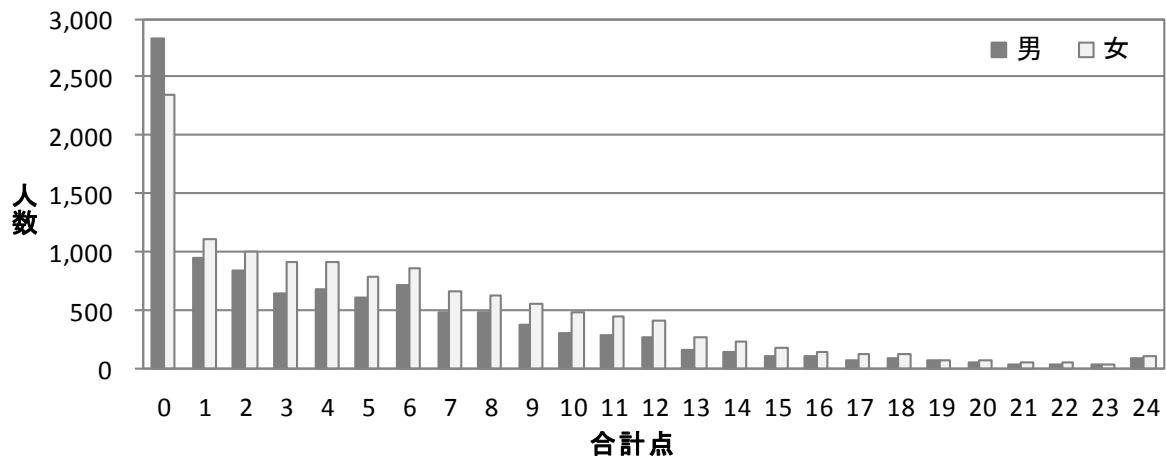


図 8 全般的な精神健康状態 (K6) : 男女別

表 24 全般的な精神健康状態(K6):年齢階級別 (人数(割合))

	13 点以上	有効回答数
10 代	20 (4.4%)	450
20 代	102 (9.7%)	1,053
30 代	234 (9.7%)	2,411
40 代	263 (10.9%)	2,415
50 代	353 (10.5%)	3,369
60 代	588 (9.4%)	6,249
70 代以上	789 (11.5%)	6,889

※1 13 点:先行研究で示されている基準

- 2) こうした経験・不調が原因で、日常生活に支障があったかどうかは、「全くない」が 13,883 人 (58.4%)、「少しだけ」が 5,730 人 (24.1%)、「ときどき」が 2,720 人 (11.4%)、「たいてい」が 642 人 (2.7%)、「いつも」が 783 人 (3.3%)であった。

14. 震災で経験したことについて (問 14)

- 1) 震災にて経験したこと(複数回答)は、「地震」が 24,692 人、「津波」が 4,655 人、「原子力発電所事故」が 24,623 人、「いずれもなし」が 239 人であった。
- 2) 震災にて経験したことが命を脅かすような経験であったかどうかについては、「はい」が 15,282 人 (60.9%)、「いいえ」が 9,794 人 (39.1%)であった。

15. トラウマ反応について (問 15)

- 1) トラウマ反応(PCL)は、有効回答 22,718 人のうち、44 点^{※2}以上が 3,899 人 (17.2%)であった(図 9(次頁))。平均点は 31.0 点であった。
- 男性では有効回答 10,249 人のうち、44 点以上が 1,625 人 (15.9%)であり、女性では有効回答 12,469 人のうち、44 点以上が 2,274 人 (18.2%)であった(図 10(次頁))。男性の平均点は 30.3 点、女性の平均点は 31.7 点であった。
- 年齢階級別は、表 25(次頁)のとおりである。
- 2) こうした経験・不調が原因で、日常生活に支障があったかどうかは、「はい」が 5,360 人 (23.4%)、「いいえ」が 17,529 人 (76.6%)であった。

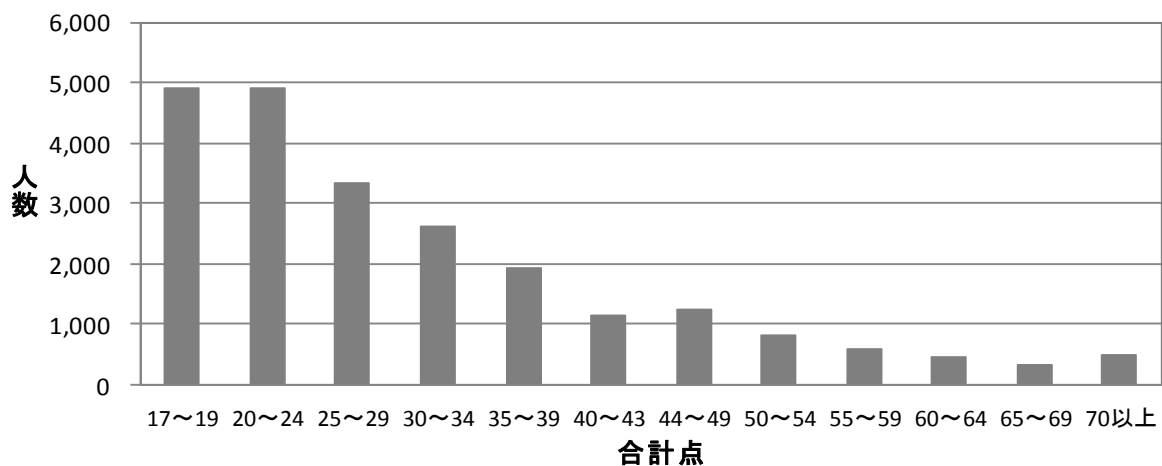


図9 一般のトラウマ反応(PCL): 全体

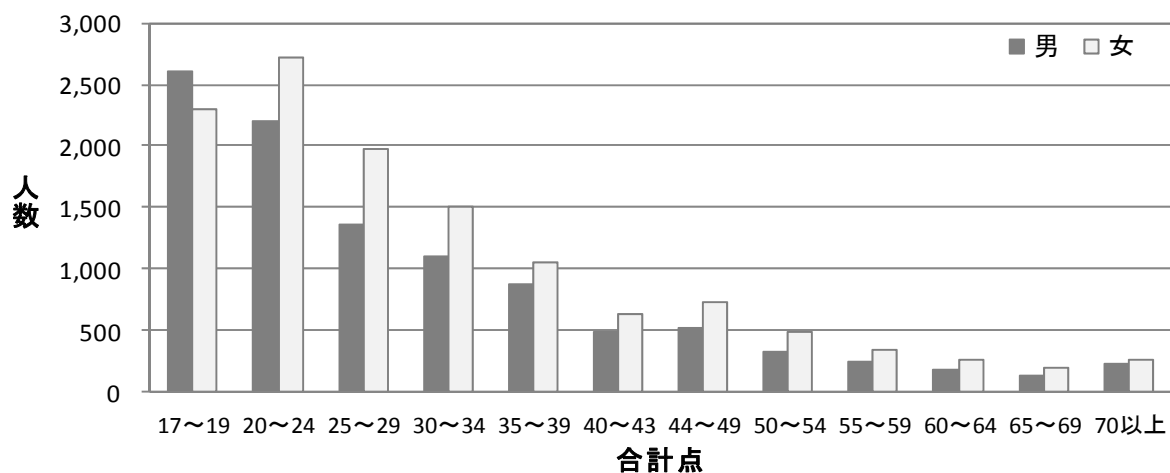


図10 一般のトラウマ反応(PCL): 男女別

表25 一般のトラウマ反応(PCL): 年齢階級別 (人数(割合))

	44点以上	有効回答数
10代	17 (3.8%)	452
20代	108 (10.4%)	1,039
30代	275 (11.4%)	2,404
40代	344 (14.3%)	2,404
50代	480 (14.3%)	3,361
60代	988 (15.8%)	6,234
70代以上	1,687 (24.7%)	6,824

※2 44点: 先行研究で示されている基準

16. 日常生活への支障について（問 16）

- 1) この1ヶ月間、日常生活に支障をきたした頻度は、「しばしばあった」が1,039人(19.9%)、「時々あった」が2,485人(47.6%)、「まれにあった」が1,310人(25.1%)、「1度もなかった」が385人(7.4%)であった。
※2)、3)、4)の回答は、1)で「しばしばあった」、「時々あった」、「まれにあった」と回答した者のみとする。
- 2) 仕事、学業、家事などへの支障は、「全く支障なし」が165人(3.8%)、「軽度」が1,945人(44.6%)、「中等度」が1,509人(34.6%)、「重度」が418人(9.6%)、「極めて支障あり」が322人(7.4%)であった。
- 3) 人付き合いや余暇の過ごし方への支障は、「全く支障なし」が207人(4.6%)、「軽度」が1,815人(40.5%)、「中等度」が1,612人(36.0%)、「重度」が522人(11.7%)、「極めて支障あり」が323人(7.2%)であった。
- 4) 家族内のコミュニケーションや役割への支障は、「全く支障なし」が367人(8.2%)、「軽度」が1,756人(39.4%)、「中等度」が1,503人(33.8%)、「重度」が500人(11.2%)、「極めて支障あり」が326人(7.3%)であった。

17. 現在の生活状況について（問 17）

- 1) 震災のため、もともと同居していた家族と、離れて生活しているかどうかについては、「はい」が10,480人(39.3%)、「いいえ」が16,191人(60.7%)であった。
- 2) 同居の人数(自分を含めて)は、震災前が、「1人(ひとり暮らし)」が1,914人(7.5%)、「2人」が6,043人(23.8%)、「3人」が5,037人(19.8%)、「4人」が4,272人(16.8%)、「5人」が3,058人(12.0%)、「6人」が2,558人(10.1%)、「7人」が1,566人(6.2%)、「8人」が640人(2.5%)、「9人」が196人(0.8%)、「10人以上」が128人(0.5%)であった。現在は、「1人(ひとり暮らし)」が3,826人(14.6%)、「2人」が9,776人(37.4%)、「3人」が5,352人(20.5%)、「4人」が3,485人(13.3%)、「5人」が1,885人(7.2%)、「6人」が1,040人(4.0%)、「7人」が499人(1.9%)、「8人」が160人(0.6%)、「9人」が62人(0.2%)、「10人以上」が50人(0.2%)であった。
- 3) 現在の住まいは、「借上住宅」が8,302人(31.5%)、「仮設住宅」が4,168人(15.8%)、「復興公営住宅」が256人(1.0%)、「借家・アパート」が3,438人(13.0%)、「親戚宅」が540人(2.0%)、「持家」が8,843人(33.5%)、「その他」が833人(3.2%)であった。
- 4) 震災から現在までの転居回数は、0回が2,362人(9.3%)、1回が2,585人(10.2%)、2回が3,247人(12.8%)、3回が4,334人(17.1%)、4回が4,183人(16.5%)、5回以上が8,643人(34.1%)であった。
- 5) 勤務形態は、「常勤・自営」が6,437人(25.0%)、「パート」が1,964人(7.6%)、「無職(学生、専業主婦を含む)」が17,321人(67.3%)であった。
- 6) 仕事の状況(震災や原発事故によってお仕事の状況は変わりましたか)は、「変わった」が11,455人(50.4%)、「変わらない」が11,268人(49.6%)であった。

- 7) 「変わった」と回答した者のうち、どのように変わったか(複数回答)については、「新しく仕事を始めた」が1,318人、「失業した」が5,829人、「転職した」が1,434人、「同じ会社・組織内での配置換え」が1,506人、「その他」が2,007人であった。
- 8) 現在の暮らし向きを経済的にみてどう感じているかについては、「苦しい」が3,569人(14.3%)、「やや苦しい」が6,350人(25.5%)、「普通」が13,736人(55.2%)、「ややゆとりがある」が919人(3.7%)、「ゆとりがある」が301人(1.2%)であった。

18. 人とのつながりについて (問 18)

現在の生活における人とのつながり(LSNS-6)については、有効回答23,886人のうち、12点^{※3}未満が9,727人(40.7%)であった(図11)。平均点は12.9点であった。

男性では有効回答10,644人のうち、12点未満が4,614人(43.3%)であり、女性では有効回答13,242人のうち、12点未満が5,113人(38.6%)であった(図12)。男性の平均点は12.6点、女性の平均点は13.2点であった。

年齢階級別は、表26(次頁)のとおりである。

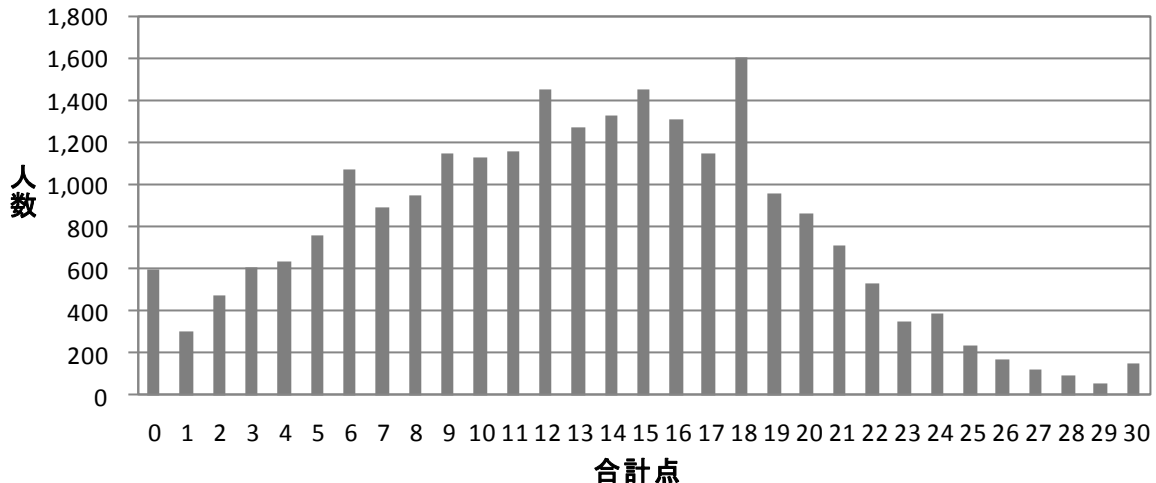


図11 人とのつながり(LSNS-6):全体

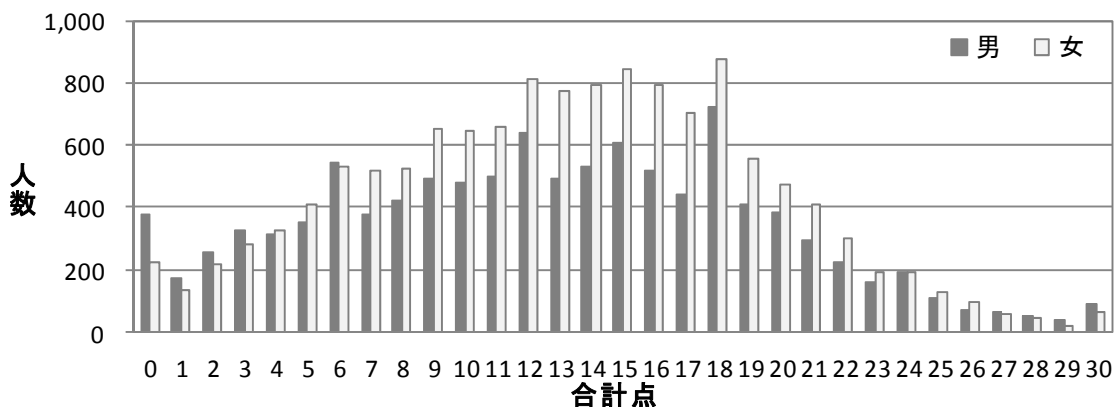


図12 人とのつながり(LSNS-6):男女別

表 26 人とのつながり(LSNS-6) : 年齢階級別 (人数(割合))

	12 点未満	12 点以上	有効回答数
10 代	137 (29.3%)	331 (70.7%)	468
20 代	449 (41.9%)	623 (58.1%)	1,072
30 代	1,239 (50.7%)	1,204 (49.3%)	2,443
40 代	1,395 (57.3%)	1,038 (42.7%)	2,433
50 代	1,783 (51.5%)	1,681 (48.5%)	3,464
60 代	2,578 (39.6%)	3,929 (60.4%)	6,507
70 代以上	2,146 (28.6%)	5,353 (71.4%)	7,499

※3 12 点: 先行研究で示されている基準

19. 現在住んでいる地域について (問 19)

現在住んでいる地域(あなたが現在お住まいの地域について、お尋ねします)については、表 27 のとおりであった。

表 27 現在住んでいる地域について

		強くそう 思う	どちらか といえば そう思う	どちらと もいえな い	どちらか といえば そう思わ ない	全くそう 思わない	有効 回答数
1	この地域の人々はお互いに助け合っている	2,592 (9.9%)	9,645 (36.7%)	8,919 (33.9%)	2,584 (9.8%)	2,542 (9.7%)	26,282
2	この地域の人々は信頼できる	2,199 (8.4%)	9,192 (35.1%)	10,521 (40.2%)	2,267 (8.7%)	2,015 (7.7%)	26,194
3	この地域の人々はお互いにあいさつをしている	4,682 (17.7%)	13,373 (50.7%)	5,545 (21.0%)	1,645 (6.2%)	1,141 (4.3%)	26,386
4	この地域で問題が生じた場合、人々は力を合わせて解決しようとする	2,631 (10.1%)	9,415 (36.0%)	9,788 (37.4%)	2,150 (8.2%)	2,163 (8.3%)	26,147

20. 放射線の健康影響についての認識について（問 20）

放射線の健康影響についての認識は、表 28 のとおりであった。

表 28 放射線の健康影響についての認識（上段人数/下段割合）

		可能性は 極めて 低い	←	→	可能性は 非常に 高い	有効 回答数
1	現在の放射線被ばくで、後年に生じる健康障害（例えば、がんの発症など）がどのくらい起こると思いますか。	6,607 (28.5%)	7,235 (31.2%)	4,953 (21.4%)	4,391 (18.9%)	23,186
2	現在の放射線被ばくで、次世代以降の人（将来生まれてくる自分の子や孫など）への健康影響がどれくらい起こると思いますか。	4,992 (21.7%)	6,807 (29.6%)	5,839 (25.4%)	5,327 (23.2%)	22,965

平成 25 年度 県民健康調査

「こころの健康度・生活習慣に関する調査」

資 料

平成 25 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（0 歳～3 歳用）」資料

			人数	割合
性別	(有効回答 1,281人)	・男児	654	51.1%
(平均年齢 2.0歳)		・女児	627	48.9%
住所別	(有効回答 1,279人)	・県内	910	71.1%
		・県外	369	28.9%
問1 健康状態	(有効回答 1,254人)	・きわめて良好	415	33.1%
		・良好	533	42.5%
		・普通	292	23.3%
		・悪い	14	1.1%
		・きわめて悪い	0	0.0%
問2 身長と体重		(性別年齢階級別 ※本文中に掲載)		—
問3 治療中の病気	(有効回答 1,238人)	・ない	917	74.1%
		・ある	321	25.9%
		(内訳 ※本文中に掲載)		
問4 入院の経験	(有効回答 1,272人)	・ない	982	77.2%
		・ある	290	22.8%
		(内訳 ※本文中に掲載)		
問5 検査の経験				
1) CT検査	(有効回答 1,277人)	・ない	1,192	93.3%
		・ある	54	4.2%
		・わからない	31	2.4%
2) X線を使った検査	(有効回答 1,258人)	・ない	1,168	92.8%
		・ある(※ある場合の検査内容)	50	4.0%
		(透視検査)	(38)	—
		(血管造影検査)	(7)	—
		(核医学検査)	(2)	—
		・わからない	40	3.2%
問6 放射線療法の経験	(有効回答 1,279人)	・ない	1,251	97.8%
		・ある	11	0.9%
		・わからない	17	1.3%
問7 睡眠時間と昼寝の有無				
1) 睡眠時間	(有効回答 1,227人)	・平均睡眠時間 10時間 0分		
	(有効回答 1,234人)	・平均就寝時刻 午後 9時 11分		
	(有効回答 1,262人)	・平均起床時刻 午前 7時 14分		
2) 昼寝の有無	(有効回答 1,272人)	・いいえ	181	14.2%
		・はい	1,091	85.8%
	(有効回答 870人)	(平均昼寝時間 1時間52分)		
問8 普段の運動量	(有効回答 852人)	・ほとんど毎日している	370	43.4%
		・週に2～4回している	283	33.2%
		・週1回程度している	110	12.9%
		・ほとんどしていない	89	10.4%
問9 食生活				
1) 母乳による授乳	(有効回答 1,229人)	・はい	193	15.7%
		・いいえ	1,036	84.3%
2) 食品等を食べる頻度	—	・本文中に掲載		—
問10 育児	(有効回答 1,278人)	・はい	161	12.6%
		・いいえ	566	44.3%
		・何ともいえない	551	43.1%

※()は内数

平成 25 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（4 歳～6 歳用）」資料

			人数	割合
性別	(有効回答 1,565人)	・男児	779	49.8%
(平均年齢 4.8歳)		・女児	786	50.2%
住所別	(有効回答 1,560人)	・県内	1,053	67.5%
		・県外	507	32.5%
問1 健康状態	(有効回答 1,532人)	・きわめて良好	404	26.4%
		・良好	651	42.5%
		・普通	458	29.9%
		・悪い	16	1.0%
		・きわめて悪い	3	0.2%
問2 身長と体重		(性別年齢階級別 ※本文中に掲載)		—
問3 治療中の病気	(有効回答 1,509人)	・ない	978	64.8%
		・ある	531	35.2%
		(内訳 ※本文中に掲載)		
問4 入院の経験	(有効回答 1,546人)	・ない	1,103	71.3%
		・ある	443	28.7%
		(内訳 ※本文中に掲載)		
問5 検査の経験				
1)CT検査	(有効回答 1,554人)	・ない	1,411	90.8%
		・ある	96	6.2%
		・わからない	47	3.0%
2)X線を使った検査	(有効回答 1,540人)	・ない	1,406	91.3%
		・ある(※ある場合の検査内容)	84	5.5%
		(透視検査)	(65)	—
		(血管造影検査)	(9)	—
		(核医学検査)	(2)	—
		・わからない	50	3.2%
問6 放射線療法の経験	(有効回答 1,553人)	・ない	1,509	97.2%
		・ある	14	0.9%
		・わからない	30	1.9%
問7 睡眠時間と昼寝の有無				
1)睡眠時間	(有効回答 1,493人)	・平均睡眠時間	9時間46分	
	(有効回答 1,503人)	・平均就寝時刻	午後9時10分	
	(有効回答 1,535人)	・平均起床時刻	午前7時2分	
2)昼寝の有無	(有効回答 1,545人)	・いいえ	1,002	64.9%
		・はい	543	35.1%
	(有効回答 427人)	(平均昼寝時間 1時間39分)		
問8 普段の運動量	(有効回答 1,483人)	・ほとんど毎日している	612	41.3%
		・週に2～4回している	465	31.4%
		・週1回程度している	189	12.7%
		・ほとんどしていない	217	14.6%
問9 食生活				
食品等を食べる頻度	—	・本文中に掲載		—
問10 SDQ	(有効回答 1,562人)	・平均総合得点	9.7点	
1)SDQ	(有効回答 778人)	・平均総合得点 男	10.4点	
	(有効回答 784人)	・平均総合得点 女	9.0点	
		・16点以上	224	14.3%
		(男)	(125)	—
		(女)	(99)	—
		・20点以上	89	5.7%
		(男)	(55)	—
		(女)	(34)	—
2)困難の有無および程度	(有効回答 1,553人)	・いいえ	1,156	74.4%
		・はい(ささいな困難)	324	20.9%
		・はい(明らかな困難)	63	4.1%
		・はい(深刻な困難)	10	0.6%
3)困難による動揺の程度	(有効回答 383人)	・まったくない	148	38.6%
		・すこしだけ	211	55.1%
		・かなり	18	4.7%
		・大いに	6	1.6%

※()は内数

平成 25 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（小学生用）」資料

		人数	割合
性別 (平均年齢 9.4歳)	(有効回答 3,001人)	・男児 1,528	50.9%
		・女児 1,473	49.1%
住所別	(有効回答 2,995人)	・県内 2,130	71.1%
		・県外 865	28.9%
問1 健康状態	(有効回答 2,876人)	・きわめて良好 655	22.8%
		・良好 1,275	44.3%
		・普通 906	31.5%
		・悪い 34	1.2%
		・きわめて悪い 6	0.2%
問2 身長と体重		(性別年齢階級別 ※本文中に掲載)	—
問3 治療中の病気	(有効回答 2,867人)	・ない 1,881	65.6%
		・ある 986	34.4%
		(内訳 ※本文中に掲載)	
問4 入院の経験	(有効回答 2,911人)	・ない 1,929	66.3%
		・ある 982	33.7%
		(内訳 ※本文中に掲載)	
問5 検査の経験			
1) CT検査	(有効回答 2,975人)	・ない 2,470	83.0%
		・ある 368	12.4%
		・わからない 137	4.6%
2) X線を使った検査	(有効回答 2,933人)	・ない 2,606	88.9%
		・ある(※ある場合の検査内容)	
		(透視検査) (118)	—
		(血管造影検査) (29)	—
		(核医学検査) (10)	—
・わからない 151	5.1%		
問6 放射線療法の経験	(有効回答 2,967人)	・ない 2,868	96.7%
		・ある 28	0.9%
		・わからない 71	2.4%
問7 睡眠時間と昼寝の有無			
1) 睡眠時間	(有効回答 2,896人)	・平均睡眠時間 8時間55分	
	(有効回答 2,911人)	・平均就寝時刻 午後9時29分	
	(有効回答 2,970人)	・平均起床時刻 午前6時29分	
問8 普段の運動量	(有効回答 2,829人)	・ほとんど毎日している 200	7.1%
		・週に2~4回している 764	27.0%
		・週1回程度している 722	25.5%
		・ほとんどしていない 1,143	40.4%
問9 食生活			
食品等を食べる頻度	—	・本文中に掲載	—
問10 SDQ	(有効回答 2,996人)	・平均総合得点 9.4点	
1) SDQ	(有効回答 1,524人)	・平均総合得点 男 9.9点	
	(有効回答 1,472人)	・平均総合得点 女 8.9点	
		・16点以上 429	14.3%
		(男) (245)	—
		(女) (184)	—
		・20点以上 171	5.7%
		(男) (108)	—
		(女) (63)	—
2) 困難の有無および程度	(有効回答 2,987人)	・いいえ 2,073	69.4%
		・はい(ささいな困難) 751	25.1%
		・はい(明らかな困難) 133	4.5%
		・はい(深刻な困難) 30	1.0%
3) 困難による動揺の程度	(有効回答 883人)	・まったくない 221	25.0%
		・すこしだけ 581	65.8%
		・かなり 66	7.5%
		・大いに 15	1.7%

※()は内数

平成25年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（中学生用）」資料

			人数	割合
性別 (平均年齢 13.8歳)	(有効回答 1,348人)	・男子	663	49.2%
		・女子	685	50.8%
住所別	(有効回答 1,344人)	・県内	1,031	76.7%
		・県外	313	23.3%
問1 健康状態	(有効回答 861人)	・きわめて良好	262	30.4%
		・良好	264	30.7%
		・普通	310	36.0%
		・悪い	23	2.7%
		・きわめて悪い	2	0.2%
問2 身長と体重		(性別年齢階級別 ※本文中に掲載)		—
問3 睡眠				
1) 睡眠時間	(有効回答 653人)	・平均睡眠時間 7時間 11分		
2) 睡眠(最近)1カ月間	(有効回答 868人)	・十分だと思う	373	43.0%
		・やや足りない	400	46.1%
		・足りない	95	10.9%
問4 運動	(有効回答 871人)	・ほとんど毎日している	407	46.7%
		・週に2~4回している	124	14.2%
		・週1回程度している	62	7.1%
		・ほとんどしていない	278	31.9%
問5 食生活	—	・本文中に掲載		—
問6 震災での経験	※複数回答	・地震	823	—
		・津波	114	—
		・原子力発電所事故	802	—
		・いずれもなし	2	—
問7 治療中の病気	(有効回答 1,293人)	・ない	942	72.9%
		・ある	351	27.1%
		(内訳 ※本文中に掲載)		
問8 入院の経験	(有効回答 1,293人)	・ない	837	64.7%
		・ある	456	35.3%
		(内訳 ※本文中に掲載)		
問9 検査の経験				
1) CT検査	(有効回答 1,312人)	・ない	1,062	80.9%
		・ある	208	15.9%
		・わからない	42	3.2%
2) X線を使った検査	(有効回答 1,297人)	・ない	1,156	89.1%
		・ある(※ある場合の検査内容)	86	6.6%
		(透視検査)	(61)	—
		(血管造影検査)	(20)	—
		(核医学検査)	(2)	—
		・わからない	55	4.2%
問10 放射線療法の経験	(有効回答 1,308人)	・ない	1,278	97.7%
		・ある	7	0.5%
		・わからない	23	1.8%
問11 SDQ	(有効回答 1,316人)	・平均総合得点 8.7点		
1) SDQ	(有効回答 652人)	・平均総合得点 男 9.3点		
	(有効回答 664人)	・平均総合得点 女 8.1点		
		・16点以上	176	13.4%
		(男)	(103)	—
		(女)	(73)	—
		・20点以上	89	6.8%
		(男)	(49)	—
		(女)	(40)	—
2) 困難の有無の程度	(有効回答 1,335人)	・いいえ	926	69.4%
		・はい(ささいな困難)	300	22.5%
		・はい(明らかな困難)	70	5.2%
		・はい(深刻な困難)	39	2.9%
3) 困難による動揺の程度	(有効回答 391人)	・まったくない	65	16.6%
		・すこしだけ	267	68.3%
		・かなり	41	10.5%
		・大いに	18	4.6%

※()は内数

平成 25 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（一般用）」資料

			人数	割合
性別	(有効回答 27,598人)	・男性	12,317	44.6%
(平均年齢 60.4歳)		・女性	15,281	55.4%
住所別	(有効回答 27,255人)	・県内	21,489	78.8%
		・県外	5,766	21.2%
問1 健康状態	(有効回答 23,771人)	・きわめて良好	834	3.5%
		・良好	3,757	15.8%
		・普通	14,528	61.1%
		・悪い	4,229	17.8%
		・きわめて悪い	423	1.8%
問2 身長と体重	—	・本文中に掲載		—
問3 既往歴	—	・本文中に掲載		—
問4 検査の経験				
1) CT検査	(有効回答 26,662人)	・ない	13,265	49.8%
		・ある	12,439	46.7%
		・わからない	958	3.6%
2) 透視検査	(有効回答 26,382人)	・ない	10,863	41.2%
		・ある	14,952	56.7%
		・わからない	567	2.1%
3) その他検査	(有効回答 26,258人)	・ない	21,368	81.4%
		・ある(※ある場合の検査内容)	3,595	13.7%
		(血管造影検査)	(2,432)	—
		(核医学検査)	(286)	—
		(PET検査)	(888)	—
		・わからない	1,295	4.9%
問5 放射線療法の経験	(有効回答 26,564人)	・ない	24,743	93.1%
		・ある	1,237	4.7%
		・わからない	584	2.2%
問6 日常生活機能				
1) 日常生活機能	—	・本文中に掲載		—
2) レクリエーション参加	(有効回答 26,818人)	・ない、めったにない	16,622	62.0%
		・ときどき参加する	7,738	28.9%
		・よく参加する	2,458	9.2%
問7 睡眠				
1) 睡眠時間	(有効回答 17,066人)	・平均睡眠時間 7時間 2分		
2) 睡眠(最近)1カ月間	(有効回答 23,241人)	・満足している	9,163	39.4%
		・少し不満	10,378	44.7%
		・かなり不満	3,048	13.1%
		・非常に不満か、全く眠れなかった	652	2.8%
3) 睡眠に関する経験	—	・本文中に掲載		—
問8 運動	(有効回答 27,104人)	・ほとんど毎日している	4,325	16.0%
		・週に2~4回している	6,467	23.9%
		・週1回程度している	4,169	15.4%
		・ほとんどしていない	12,143	44.8%
問9 笑う機会	(有効回答 27,122人)	・ほぼ毎日	7,057	26.0%
		・週に1~5回程度	10,972	40.5%
		・月に1~3回程度	5,371	19.8%
		・ほとんどない	3,722	13.7%

※()は内数

			人数	割合
問10 喫煙				
1) 受動喫煙	(有効回答 25,989人)	・毎日	5,346	20.6%
		・週4-5日程度	1,621	6.2%
		・ときどき	7,283	28.0%
		・めったにない	11,739	45.2%
2) 喫煙(震災以前)	(有効回答 25,211人)	・吸っていなかった	17,783	70.5%
		・吸っていた	7,428	29.5%
3) 喫煙	(有効回答 23,421人)	・吸ったことがない	13,688	58.4%
		・やめた	5,648	24.1%
		・吸っている	4,085	17.4%
		(平均1日本数 22.1本)		—
		(平均喫煙年数 29.0年)		—
問11 お酒				
1) アルコール飲料の飲酒	(有効回答 25,583人)	・飲んでいなかった、または、ほとんど飲んでいなかった	13,530	52.9%
(震災以前)		・飲んでいた(月1回以上)	12,053	47.1%
2) アルコール飲料の飲酒	(有効回答 24,854人)	・飲まない、または、ほとんど飲まない	13,174	53.0%
		・やめた	839	3.4%
		・飲む(月1回以上)	10,841	43.6%
		(飲む酒類と頻度 ※本文中に掲載)		—
3) 飲酒の頻度	(有効回答 10,287人)	・本文中に掲載		—
4) 1日あたりの飲酒量	(有効回答 9,680人)	・平均1.0合		—
5) 飲酒に関する経験	(有効回答 9,962人)	・本文中に掲載		—
問12 食生活	※複数回答	・本文中に掲載		—
問13 精神健康状態(K6)				
1) 精神健康状態(K6)	(有効回答 22,836人)	・平均点 5.3点		
	(有効回答 10,338人)	・平均点 男 4.8点		
	(有効回答 12,498人)	・平均点 女 5.7点		
		・13点以上	2,349	10.3%
		(男)	(917)	—
		(女)	(1,432)	—
		(年齢階級別 ※本文中に掲載)		—
2) 日常生活での支障の程度	(有効回答 23,758人)	・全くない	13,883	58.4%
		・少しだけ	5,730	24.1%
		・ときどき	2,720	11.4%
		・たいてい	642	2.7%
		・いつも	783	3.3%
問14 東日本大震災について				
1) 震災での経験	※複数回答	・地震	24,692	—
		・津波	4,655	—
		・原子力発電所事故	24,623	—
		・いずれもなし	239	—
2) 命を脅かすような経験	(有効回答 25,076人)	・はい	15,282	60.9%
		・いいえ	9,794	39.1%
問15 トラウマ反応(PCL)				
1) トラウマ反応(PCL)	(有効回答 22,718人)	・平均点 31.0点		
	(有効回答 10,249人)	・平均点 男 30.3点		
	(有効回答 12,469人)	・平均点 女 31.7点		
		・44点以上	3,899	17.2%
		(男)	(1,625)	—
		(女)	(2,274)	—
		(年齢階級別 ※本文中に掲載)		—
2) 日常生活での支障の有無	(有効回答 22,889人)	・はい	5,360	23.4%
		・いいえ	17,529	76.6%
問16 日常生活への支障(PCL)				
1) 日常生活での支障の頻度	(有効回答 5,219人)	・しばしばあった	1,039	19.9%
		・時々あった	2,485	47.6%
		・まれにあった	1,310	25.1%
		・1度もなかった	385	7.4%

※()は内数